

第七十九回帝國議會
衆議院

國民體力法中改正法律案外四件委員會會議錄(速記)第三回

會議

昭和十七年一月二十七日(火曜日)午前十時
二十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 紫安新九郎君

理事中井 一夫君 理事中村 梅吉君

理事羽田武嗣郎君 理事星島 二郎君

理事塚本 重藏君 理事西尾 末廣君

淺井 茂猪君 池田 清秋君

上田 孝吉君 加藤鑠五郎君

椎尾 辨匡君 清水留三郎君

助川啓四郎君 高見 之通君

田中 邦治君 田中 源君

武知 勇記君 野方 次郎君

福田 悌夫君 藤生安太郎君

星 一君 山田 清君

山田 順策君 横川 重次君

渡邊 健君 芦田 均君

松尾 孝之君 土屋清三郎君

永江 一夫君 田中 養達君

林 平馬君

出席國務大臣左ノ如シ

厚生大臣 小泉 親彦君

出席政府委員左ノ如シ

文部省專門學務局長 永井 浩君

文部省普通學務局長 中野 善教君

文部省社會教育局長 瀧 彌三君

厚生次官 武井 群嗣君

厚生省人口局長 中村敬之進君

厚生省衛生局長 加藤於菟吉君

厚生省豫防局長 高野 六郎君

厚生省生活局長 川村 秀文君

厚生省職業局長 塩原時三郎君

保險院社會保險局長 木村 清司君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國民體力法中改正法律案(政府提出)

國民醫療法案(政府提出)

健康保險法中改正法律案(政府提出)

國民健康保險法中改正法律案(政府提出)

戰時災害保護法案(政府提出)

○紫安委員長 開會致シマス——山田順策君

○山田(順)委員 此ノ際大臣ニ質問致スコ

トハ保留致シテ置キマスガ、順次款ヲ逐ウ

テ質問ヲ續ケテ行キタイト思ヒマス、此ノ

度健康保險法ト職員健康保險法ト改正ヲ致

シマシテ、之ヲ統一サセルト云フコトハ洵

ニ我ガ意ヲ得タル改正案ノヤウニ考ヘテ居

ルノデゴザイマス、ソコデ私ハ百尺竿頭一

歩ヲ進メテ、政府ノ職員ノ共濟組合ヲモ統

一サセル必要ガアルデハナイカト考ヘテ居

ルノデゴザイマスルガ、之ニ對シデハ一體

ドウ云フ風ナ考ヘ方ヲ持ツテ居リマスルカ、

將來之ヲ統一サシテ行カウト云フ御意思ガ

アルカ、此ノ點ヲ先ヅ第一ニ御伺ヒシタイ
ト思ヒマス

○武井(群)政府委員 御質問ノ點洵ニ御尤

モト存ジマス、當局ト致シマシテハ健康保險

ニ關スル各種ノ制度ハ出來ル限リ之ヲ單一

化シテ、綜合的ナモノヲラシメタイト云フ

考ヘテ持ツテ居リマシテ、昨年ノ春以來色

色ト研究致シマシタノデアリマスガ、先ヅ

以テ健康保險及ビ職員健康保險ノ統一ヲ致

シテ、事務ノ簡易化ヲ圖ラウ、次ニ考ヘル

コトハ健康保險法ト國民健康保險法トノ統

一トカ云フ問題ニナラウカト思ヒマス、御

話ニナリマシタ職員共濟組合等ニ付キマシ

テハ、御意見ノヤウナ次第モアリマシテ、

色々ト研究ハ致シテ見マシタ、成ベク統一

シテ、此ノ執行ニ當ツテハ各官廳足並ヲ揃

ヘテ行クヤウニ致スコトガ、國民保險ノ實

ヲ舉ゲル上ニ於テモ、又此ノ保險ニ關與ス

ル醫師或ハ事務員等ノ關係カラ申シマシテ

モ、極メテ望マシイコトデアリマスノデ、

色々ト研究ハ致シマシタケレドモ、マダ御

話ノヤウナ結論ニマデ達シナカッタ譯デア

リマス、今回ハ職員健康保險法ト健康保險

法ノ統一ト云フコトト、ソレカラ國民健康

保險法ト改正ヲ行ヒマシテ、其ノ内容ニ付

キマシテハ兩者共オ互ヒニ同一ニナルヤウ

尙ホ今後ニ於キマシテモ研究ヲ續ケテ參リ
タイト思ツテ居リマス

○山田(順)委員 只今次官ノ御答辯ニ依リ

マス、研究ヲ進メテ行キタイト云フ風ナ

御話デアリマシテ、政府ノ職員ノ共濟組合

ハ當然之ニ統一シテ行クコト云フコトガ理論

的ニ考ヘラレルコトト思フノデスガ、ソレ

ヲ將來ヤリ得ルカドウカト云フ點ニ付テノ

信念ヲ御伺ヒシタイ

○武井(群)政府委員 先程御答ヘ致シマシ

タ通り、更ニ一層具體的ニ研究ヲ續ンデ參

リマシタ上デ見透シヲ付ケタイト思ヒマ

ス、今此處デ直チニヤルト云フコトヲ申上

ゲルマデノ域ニ達シテ居リマセスコトヲ御

諒承願ヒタイト思ヒマス

○山田(順)委員 國民健康保險法ノ改正ニ

依リマシテ、此ノ度ハ設立ニ對スル所ノ相

當ノ強化ヲ加ヘテ參リマシタ、又加入ノ點

ニ於キマシテモ之ニ對シテ相當ノ強化ヲ加

ヘテ行クコト云フコトハ洵ニ結構ナコトト存

ジテ居リマス、此ノ際私ハ國民健康保險ノ

保險料ニ對シテモ、是ハ當然統一のニ考ヘ

ル必要ガアルデハナイカト想像シテ居リマ

ス、又一面ニ於キマシテハ療養ノ範圍ニ於

テ之ヲ大體一定サシテ、サウシテ保險組合

ノ經濟ノ許ス範圍ニ於テ、大體之ヲ擴大シ

テ行カウ、此ノ方針デ進マナケレバナラス

付託議案

國民體力法中改正法律案(政府提出)
出(第四九號)

國民醫療法案(政府提出)
出(第五〇號)

健康保險法中改正法律案(政府提出)
出(第五一號)

國民健康保險法中改正法律案(政府提出)
出(第五二號)

戰時災害保護法案(政府提出)
出(第五三號)

ト考ヘルガ、政府ノ御所見ハ如何デゴザイマスカ

○木村(清)政府委員 國民健康保險ノ保險料ヲ統一シタドラウカト云フ御話デアリマシガ、國民健康保險ノ建前ハ各市町村ヲ單位トシテ設立セラレマシテ、健康保險ノ職員保險ト著シク其ノ性質ヲ異ニシテ居ル重要ナル點ハ、客觀的ナ全國共通ノ保險料ノ算定基準ヲ定メルコトガ困難デアアル、稍、市町村民稅、或ハ昔ノ戸數割ト或ル程度似タ方法ヲ以テスル以外ニハ、保險料ヲ決定スルコトハ困難ノヤウナ狀態デアリマス、隨テ詰リ國民健康保險ニ於キマシテハ、各保險組合ヲ作ルト云フコトガ先決要件デアリマシテ、健康保險ノ職員健康保險ノヤウナ政府單獨ニ設ケルコトモ事實的ニ極メテ困難ナ事情ニアルノデアリマス、隨テ保險料ニ付キマシテハ、其ノ決定方法ニ付キマシテ當局ヨリモ指導方針ヲ定メマシテ、具體的ナ適正安當ナヤウニ指導シテ行キタイと思ヒマスガ、全國的ナ統一ヲスルト云フコトハ此ノ保險ノ性質上困難デアラウト思フデアリマス、又此ノコト自體ガ社會保險全部ヲ統一スルコトノ困難ナコトヲ物語ルノデアリマシテ、政府ハ只今提案シテ居リマスヤウニ、健康保險ト國民健康保險ト云フ二本建デ以テ健康保險ニ關スル社會保險ノ普及ヲ致シタイト、斯ウ考ヘテ居リマス所以ノモノハ、又此ノ保險料ニ關スル點ガ最モ保險技術上統一ヲ困難トスル事情ニアルコトヲ御諒願ヒタイト思フデアリマス、療養ノ範圍ニ付キマシテハ御尤モデゴザイマス、之ニ付キマシテハ現在モ指導方針ヲ定メマシテ一定スルヤウニ指導シテ居リマスガ、將來ハ尙ホ此ノ改正法律案ニ依リマシテ、健康保

險及ビ國民健康保險兩者共ニ醫者ト保險者トノ關係ヲ法律上定メルコトニ致シマシタル結果ト致シマシテ、療養上ノ範圍等ニ付キマシテハ出來ル限り統一ヲ圖ルコトト致シマシテ、オ醫者サンノ方ガドノ社會保險カラ來マシテモ略、同一ナ診療費デアリ、又出來ル限り同一ナ手續ヲ以テ診療シ得ルヤウニ致シタイト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマシテ、詰リ私共ハ各種ノ社會保險ニ於ケル保險者ト醫者トノ關係ヲ出來ルダケ統一一致シマシテ、醫者ノ煩雜ヲ出來ル限り少ク致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○山田(順)委員 療養ノ範圍ト保險料トハ密接不可分ノ問題デアアルノデアリマス、隨テ此ノ點ハ地方自治體ノ經濟ニ關係ヲ及ボスノデアリマシテ、地方自治體ニ於キマシテ經濟ガ貧弱デアアルナラバ、國家ガ之ニ對シテ相當ノ補助ヲ與ヘテヤツテ、サウシテ若シ保險料ト云フモノガ統一ガ出來ナイトシタナラバ、療養ノ範圍ヲ統一スル爲ニ、ソコニ於テ自治體ノ保險經濟ニ成ベク弾力性ヲ附ケテヤルト云フ政府ノ方針デナケレバナラスト考ヘルノデアリマス、所謂保險料ノ統一ガ出來ナイトシタナラバ、所謂保險經濟ガ相當ニ缺損ヲ生ズルト云フコトニモ影響ヲ及ボシテ來ルノデゴザイマスカラ、國家ガ貧弱ナ町村ニ對スル所ノ一ツノ補助助成ヲスル必要ガアルノデハナイカト想像致シマスガ、此ノ點ハ如何デゴザイマスカ

○木村(清)政府委員 只今ノ所デモ實際ニ補助ヲ支給スル場合ニ於キマシテ、サウ云フ場合ヲモ多少考慮シテ居リマスガ、唯大體當初三年間被保險者一人當リ一圓、其ノ後ハ七十五錢ト云フ豫算デアリマスカラ、給付費ニ特別ノ補助ヲスルト云フ建前ニハ現

在ハナツテ居リマセスガ、ヤリ繰リヲ致シマシテ、多少サウ云フ方面モ考慮シマスガ、今ノ市町村ノ財政交付金ノヤウナ客觀的ナ標準ガ定メラレ、又其ノ定メルコトニ依ツテ弊害ガ起キナイモノト致シマスナラバ、サウ云フコトモ將來ハ考究スル必要ガアルノデヤナイカト思ツテ居リマス、現在ノ所ハ極ク例外的ニ、特ニ財政困難ナモノニ付テ僅カバカリデスガ、餘計ニ支給スルト云フ建前ニシテ居リマス

○山田(順)委員 醫療ノ內容ヲ充實スル上ニ於キマシテハ、保險院ノ社會局ト醫師會乃至ハ齒科醫師會、此ノ契約ニ付キマシテハ出來得ル限り被保險者ニ對シテ、最モ充實シタル所ノ醫療ヲ施スコトノ出來得ルヤウナ契約ヲスルト云フコトガ建前デハナイカト思フノデアリマス、隨テ今日ニ於キマシテハ齒科醫療ニ對シテハ、昭和十七年四月カラハ一人當リ九十九錢ト云フコトニ相成ツテ居リマシテ、普通醫師ニ於キマシテハ八圓六十七錢ト記憶シテ居リマスガ、サウ云フ率ニナツテ居リマス、斯ウ云フ點ニ付テモウ少シ將來醫療ノ內容ヲ充實スル意味ニ於キマシテ、契約ヲ更改ノ際ニ相當ニ考慮スル必要ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、ソレハ今日政府ノ健康保險ノ積立金ハ約五千萬圓持ツテ居ルノデゴザイマシテ、其ノ利子ヲ考ヘマシテ二百三十萬圓ノ利子ヲ得ラレデハナイカト思フ、組合ノ方ニ於キマシテ六千萬圓ノ積立金ヲ保有シテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ關係カラ申シマシテ、醫療ヲ充實スルニハ、ヤハリ其ノ契約ノ上ニモウ少シ彈力性ヲ持タセナケレバナラスト思フノデゴザイマスガ、此ノ點ニ付テハドウ云フ風

ニ考ヘテ居リマスカ

○木村(清)政府委員 健康保險ノ醫療內容ヲ向上致ス爲ニ、或ル程度保險經濟ノ許ス限リ、又場合ニ依リマシテハ健康保險個々ノ組合ニアリテハ財政困難トセララル向キニアリマシテモ、ソレヲ多少押切ツテモ醫療內容ヲ向上スルコトトシ、ソレニ必要ナル限度ニ於キマシテ醫療費ヲ高メルコトノ必要ナノハ申スマデモナイノデアリマシテ、此ノコトニ付キマシテハ數年來努力致シマシテ、殊ニ昨年ノ契約更改ノ時期ニ於キマシテモ、相當內容モ向上シ、或ハ所謂制限診療ト言ハレタ療養上ノ制限ヲモ撤廢致シマシテ、又明年度ニ於キマシテハ齒科醫ニ付キマシテハ鑲嵌ト申シマスガ、「インレ」ヲモ治療範圍ノ中ニ入レル等、相當內容ノ向上ニハ努メテ居ルノデゴザイマス、將來トモ保險診療ヲ完全ナル診療ニ致シヤウニ極力努力致シタイと思ヒマス、其ノ保險醫ニ對シマシテ出來得ル限り適正ナル診療費ヲ支拂フ方法ニ付キマシテハ、日夜努力致シマシテ、又醫師會ノ幹部諸君トモ能ク相談致シマシテ、出來得ル限り適正安當ナ方法ニ於キマシテ、醫者ニ出來ル限り十分ノ醫療費ヲ支拂ツテ、サウシテ完全ナ診療ヲシテ戴クヤウニ努メテ居ルノデアリマス、其ノ方法ニ付キマシテハ將來ハ此ノ人頭請負式ヲ廢止致シマシテ、契約式ニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○山田(順)委員 次ニ文部當局ニ質問ヲ致シタイト存ジマス、事變始マツテ以來、醫者ノ需要ハ急速ニ増大シテ來テ居リマス、又大東亞戰爭ガ勃發致シマシテ、所謂昨年十二月八日ニ大詔ガ渙發セラレマシテ、輝カシキ戰果ヲ收メテ、日本ノ領土ハ數十倍ニ

ナルノデハナイカト想像致シマス、ソコデ最近單科大學ニ高等學校ヲ卒業シテ入學スル志望者、所謂醫科大學ニ入學スル志望者ガ段々減ツテ來タ、例ヘバ岡山トカ、或ハ新潟トカ、其ノ他金澤ノ方面ニ於キマシテモ、募集人員ニ達シナイト云フコトガ屢言ハレテ居ル、其ノ補給策トシテ或ハ醫學專門學校、或ハ醫學專門學校、齒科醫學專門學校ヲ卒業シタ人達ヲ先ヅ試験ヲサセテサウシテ之ニ入學ヲ許シテ居ル、斯ウ云フヤウナ狀態デゴザイマス、所デ今後此ノ單科大學ニ入學スル途ニ付テ私共ノ考ヘト致シマシテハ、ヤハリ豫科ヲ併置致シマシテ、豫科ノ二年生デモ採ツテ、サウシテ單科大學ニ豫科カラ直チニ進ム途ヲ開イテ行クト云フコトガ、所謂醫者トシテノ人的資源ヲ増大シテ行ク上ニ於テ最モ必要ナコトデアルヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナ點ニ對シテ文部當局ハ何等カ施策ヲ持ツテ居リマスカ、若シ其ノ御考ヘヲ伺フコトガ出來レバ此ノ際一ツ御聽カセヲ願ヒタイト思ヒマス

○永井政府委員 御話ノ如クニ單科醫科大學ノ入學者ハ非常ニ近年減リマシタ、然ラバ他ノ方ハドウデアアルカト申シマスルト、帝國大學アタリハ減ツテ居リマセス、尙ホ大學ノ豫科或ハ醫學專門云フヤウナ方ハ、數人ニ一人乃至八十數人ニ一人ト云フ程ノ志望者ガアル、單科醫科大學ニ限ツテ近年減ツテ居ルト云フ現象ニナツテ居リマス、然ラバ是ハドウシテサウ云フヤウナ現象ニナツカト云フト、是ハ高等學校ノ卒業者ヲ入レルノデアリマス、所ガ其ノ高等學校ノ收容人員ガ從來一學級四十人デアツタノガ三十人ニ減ツタ、ソレカラ一方時勢ノ關係

上、工學部方面ノ需要ガ非常ニ多クナツテ、又其ノ方面ノ大學ノ定員増加モアツタト云ツタヤウナ關係カラ、高等學校ノ理科ノ卒業生ガ單科大學ヘ行クト云フコトガ、數量カラ云ツテモ、又實際上ノ需要カラ云ツテモ、ソチヲ方ニ向キ難カツタ、サウ云フコトガ原因ニナツテ減ツタコトト思フノデアリマスガ、實ハ先程申シマシタヤウニ一學級四十人ヲ三十人ニシタノヲ更ニ四十人ニ復活シタモノ、詰リ全體ノ三割増加ノ數ガ此ノ三月ニ出ル譯デアリマス、尙ホソレニ依リマシテモ理科ノ卒業生ノ數ガ相當多クナリマスカラ、或ハ此ノ點ニ於テ單科醫科大學ノ方ニ參ル者モ多クナリハシナイカ、尙ホ今年ハ飽クマデ一次試験カラ三次試験ト云フ風ニ、ドン／＼定員通リハ入レルト云フ方針ヲ固ク執ツテ居リマスカラ、其ノ方面ニ於テモ入ルノデハナイカト思ヒマス、ノミナラズ實ハ今度ノ豫算ニ於キマシテモ、高等學校ノ理科ノ學級數ヲ四十學級殖ヤシ、千六百人殖ヤスト云フコトヲ御願ヒ致シテ居ル譯デアリマシテ、是ガ可決ニナリマスレバ、千六百人ト云フ大量ノ理科ノ入學者ガ出來、卒業者ガ出來テ來ル、旁、色々ナコトデ單科醫科大學ノ定員ニ充タザル狀況モ、今年或ハコト暫クノ間ニハナクナツテ、十分ニ豫定通りノモノヲ得ルコトガ出來ルト思ツテ居リマス、尙ホ併シ御話ノ點等ニ付テモ考慮致スベキ點ガアルト思ヒマスノデ、十分考慮致シマシテ善處致シタイト存ジテ居リマス

○山田(順)委員 今日ノ場合ハ私が申スマデモナク、一人デモ餘計ニ醫師ガ欲シイト云フ情勢ニ即シテ居ルノデアリマシテ、ソコデイマ一ツ文部當局ニ御伺ヒシタイコト

ハ、齒科醫師ニシテ尙ホ進ンデ醫學ヲ學ビ、醫師タラントスル希望ヲ持ツ者ニ於キマシテハ、醫學專門學校ノ三年ニ入學ヲ許可シテ、サウシテ一人デモ餘計ニ醫師ヲ世ノ中ニ出サウ、斯ウ云フヤウナ方法ハ最モ適切ノヤウニ考ヘテ居リマスガ、之ニ對シテ文部當局ハドウ云フ風ナ御考ヘヲ持ツテ居ラレマスカ

○永井政府委員 既ニ齒科醫師ニナツテ居ル者ヲ醫學專門學校ノ三年ニ編入セシメルト云フ點ニ付テハ、是ハ果シテ宜イカドウカ餘程考慮スベキ問題ダト思ヒマス、御話ノ點ニ付キマシテハ十分一ツ考慮致シテ見タイト思ヒマス

○山田(順)委員 現行規定ニ依リマスト、齒科試驗ノ受験資格中ニ、齒科醫學學校三年終了ト云フコトガアルノデアリマス、併シ是ハ大正十四年ノ齒科醫師法改正ノ際ニ、文部當局ハ斯ウ云フヤウナ學校ハ廢止スルト云フコトヲ答辯シテ居ルノデアリマス、今日ハ一二ソレガゴザイマスルガ、是ハ當然廢止サルベキモノデアツテ、即チ之ニ代ハルニ齒科醫學專門學校卒業ト云フコトヲ其ノ資格中ニ入レルト云フコトハ、是ハ當然ナスベキコトデハナイカト思フノデアリマス、此ノ點ニ對シテ文部當局ハドウ云フ風ナ取扱ヒヲスルカ、斯ウ云フ私ノ質問デアリマス

○永井政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ、既ニ數年前ニ御話ガアリマシタ時ニ答辯ヲ致シテ居リマスルヤウナ方針デアツテ參ル積リデアリマス

○山田(順)委員 ソレデハ國民醫療法ニ付テ、條ヲ追フテ質問ヲ致シテ行キタイト思ツテ居リマス、吾々醫師、齒科醫師トシテ、

各々職場々々ニ於テ國家ノ爲ニ御奉公ヲスルコトハ是ハ當然ノ責務デアリマス、殊ニ時局柄挺身ノ國家ニ奉ズルト云フ氣持デ進マナケレバナラヌコトハ能ク分ツテ居リマス、所デ國民醫療法ノ第三條ニ「醫師及齒科醫師ハ醫療及保健指導ヲ掌リ國民體力ノ向上ニ寄與スルヲ以テ其ノ本分トス」斯ウ云フコトガ所謂法規ニ依ツテ規定サレテ居ル、私ハ寡聞ニシテ法律ヲ以テ斯ウ云フコトヲ規定サレテ居ル職業ト云フモノハ會テ聞イテ居ラスノデアリマス、苟モ斯ウ云フコトヲ法律ヲ以テ規定スル以上ハ、少クトモ其ノ醫師乃至ハ齒科醫師ニ對スル所ノ經濟上ノ問題モ併セ考ヘル必要ガアルノデハナイカト私ハ思ツテ居リマス、サウシテ而モ第十六條ノ「日本醫師會、道府縣醫師會、日本齒科醫師會及道府縣齒科醫師會ハ醫療及保健指導ノ改良發達ヲ圖リ國民體力ノ向上ニ關スル國策ニ協力スルヲ以テ目的トス」云々勿論法人的ノ團體ガ國策ニ力協スルコトハ是亦當然ノコトデアリマスルガ、併シナガラ其ノ日本醫師會乃至ハ道府縣醫師會、日本齒科醫師會又ハ道府縣齒科醫師會ガ國策ニ協力シ其ノ活動ヲ最モ力付ケテ行クト云フ上ニ於テハ、是等ノ團體ニ對シテ政府ハ何等カソコニ活動力ヲ起サセル所ノ一ツノ力ヲ付ケル必要ガアルノデハナイカト思フ、是等團體ノ費用ト云フモノヲ是レ悉ク齒科醫師乃至ハ醫師ガ負擔シテ居ルト云フコトニ付テ、少クトモ是ハ國家ガ相當ナル補助ヲ與ヘテ、サウシテ醫師會ナリ乃至ハ齒科醫師會ニ對シテ活動ノ出來得ルヤウニスルコトハ當然ノ道行キデハナイカト思フノデアリマスガ、ドウモ厚生省ノ役人ノ諸君ハ、斯ウ云フヤウナ團體乃至ハ

醫師齒科醫師ニ對スル義務ヲ相當過重ニ負ハセリヤウナ嫌ヒガアルノデハナイカト私ハ想像スル、勿論國民トシテ先程申シマシタ通り、此ノ時局柄身ヲ挺シテ國家ニ奉ズルコトハ是ハ當然ノコトトハ存ジテ居リマスガ、斯様ナ點ニ付テモウ少シ醫師齒科醫師乃至ハ日本醫師會或ハ日本齒科醫師會、又道府縣醫師會、道府縣齒科醫師會ニ對スル所ノ溫カ味ノアル活動力ヲ注入スル一ツノ施策ハ持ツテ居リマス、此ノ點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○武井(群)政府委員 御説ノ點洵ニ御尤モト存ジマス、今回國民醫療法案ヲ制定スルニ當リマシテ、初メテ茲ニ醫師及ビ齒科醫師ノ義務トデモ申シマス、規定ヲ新タニ設ケタ譯デアリマス、昨日モドナタカラカ御話ノアツタコトデアリマスガ、從來醫者ト云ヘバ、患者ノ出ルヲ待ツテ居ルト云フヤウナ風ニ考ヘテ居ル者モナイ譯デハナカッタト思フノデアリマスガ、ソレデハ今日ノ國家ノ現狀ニ即シテ足ラスト考ヘマシテ、茲ニ醫療ヲ掌ルコトハ勿論醫師及ビ齒科醫師ノ本分デアリマスガ、更ニ其ノ醫療ヲ受ケル前提ニナル保健指導、詰リ積極的ノ保健衛生ノ方面ニ向ツテ、醫師及ビ齒科醫師ノ御盡力ヲ切ニ希望スルト云フヤウナ意味ヲ、今回規定ノ上ニ強ク表ハスコトニ致シタ譯デアリマス、隨テ其ノ醫師ノ團體デアリマス醫師會及ビ齒科醫師會ニ付キマシテモ、國民體力ノ向上ニ關スル國策ニ協力シテ、強イ力ノ原動力トナツテ働イテ戴カナケレバナラスト云フコトヲ感ジマシテ、十六條ニ其ノ旨ノ規定ヲ設ケタ譯デアリマス、ソコデ今御説ノヤウニ、ソレ程マデニ國家ガ言フノナラバ、醫師會ニ對シ

テ財的ノ援助等モナスベキデハナイカト云フコトニ付キマシテモ、一應御尤モナ點ガアル譯デアリマスガ、私共ト致シマシテハ、色々ト或ル團體ニ對シテ國策ニ協力スルコトヲ求メマスケレドモ、併シナガラ是ガ直チニ國庫ノ補助交付金等ト交換條件ニ於テノミ考ヘル必要ハナイモノデハナカラウカ、各、其ノ團體ノ實情等ニ依ツテ、別個ニ具體的ニ考ヘテ然ルベキデハナカラウカト考ヘテ居ル譯デアリマス、併シサレバト申シテ、醫師會及ビ齒科醫師會ニ對シテ、政府ハ空手デ國策ニ協力スルノ義務ノミヲ要求シヨウト考ヘテ居ル譯デアリマセス、明年度ノ豫算ニハ、健力醫師ノ再教育ト申シマス、ソレ等ニ要スル費用ニ付キマシテハ若干計上シタイト思ツテ居リマスガ、今後必要ニ應ジマシテハ、國策ニ協力シ得ルニ要スル國費等ニ付テハ考ヘテ見ナケレバナラスト存ジテ居リマスガ、只今ノ所デハ左様ナ狀況デアアルコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○山田(順)委員 此ノ際第九條、第十條ニ關聯シテ御聽キ申シタイト思ヒマスガ、齒科醫師ガ其ノ療診中ニ死亡シタル患者ニ對シテ死亡診斷書ヲ作成スルト云フコトハ、明治三十六年以來今日ニ至ルマデ、屢、主務官廳トシテ明示サレテ居リマスガ、併シナガラ地方廳ニ依リマシテハ之ニ對スル取扱ヒニ對シテ徹底ヲ致シマセス、ソレデ此ノ際此ノ第九條乃至第十條ヲ作ル場合ニ於キマシテ、之ニ何トカサウ云フヤウナ點ヲ法文化シテ置ク必要ガアルノデハナイカト私ハ考ヘテ居リマスガ、サウ云フヤウナ點ニ付テハ當局ハドウ云フ風ナ御考ヘヲ持ツテ居リマス、御尋ネ致シマス

○加藤政府委員 第九條、第十條ニ關聯致シマシテ、齒科醫師ノ死亡診斷書交付ノ權限ノ有無ニ付テノ御尋ネ、及ビ立法論ガゴザイマシタガ、第九條並ニ第十條ハ、何レモ現行ノ齒科醫師法ノ條文ヲ其ノ儘ニ此處ヘ持ツテ參リマシタ、字句ハ多少整理シタ點ガアルノデアリマスガ、趣旨ハ全ク其ノ儘ノ規定ヲ持ツテ參ツタノデアリマス、即チ九條ニ於テモ十條ニ於テモ所謂診斷書——第九條ハ醫師、齒科醫師共ニ診斷書ノ交付ノ求メアル場合ニ於テ、正當ノ事由ナクシテ診斷書ノ交付ヲ拒否スルコトガ出來ナイト云フ規定デアリ、第十條ハ醫師、齒科醫師ガ自ラ診察セズシテ診斷書ヲ交付シテハ相成ラスト云フ規定デアアルノデアリマス、此ノ診斷書ト云フ字句ノ中ニ、死亡診斷書ガ含ムモノデアルト云フ點ニ付テハ、御指摘モゴザイマシタ通り醫師、齒科醫師共通ノ問題トシテ考ヘテ居ルノデアリマス、勿論齒科醫師ニ付テハ、齒科ニ關係アル死亡診斷書デアアルコトハ、申スマデモナイノデアリマス、左様ナ現行ノ儘ノ規定ヲ此處ニ持ツテ來タノデアリ、現行ノ解釋ニ付テハ只今申上ガタヤウナ次第デアリマスノデ、之ヲ此ノ機會ニ書直ス必要モナク、又書直スコトハ却テ混亂ヲ來スノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○加藤政府委員 第十一條ノ書キ方ニ付テハ御質疑デゴザイマスガ、御意見ノヤウニ致シマスノモ、或ハ法律上ハ大シテ支障モナイカモ知レヌノデアリマスガ、本條文ハ新シイ規定デ、醫師ナリ齒科醫師ナリニ診療ヲナシタル場合ニ、色々ト療養ノ方法其ノ他ヲ指導スベシト云フ義務ヲ課スル規定デアアルノハ、御承知ノ通りデアリマス、而シテ診療ヲナシタル場合ニ、本人又ハ其ノ保護者ニ對シテ療養ノ方法其ノ他ヲ指導ヲナシマス範圍ハ、是ハ申スマデモナク醫師ハ醫業ニ付テ、齒科醫師ハ齒科醫業ニ付テノコトデアアルコトモ申スマデモナイノデアリマス、ソコデ斯様ナ義務ヲ課スルヤウナ規定ニ於キマシテハ、齒科醫師診療ヲナシタル場合亦之ヲ準用スト云フ風ニ致シマシデ、齒科醫師ガ療養指導ノ義務ヲ有スル範圍ハ齒科醫業ノ範圍デアアルト云フコトヲ、寧ロ進ンデ明確ニ致シマスル方ガ事ノ混亂ヲ防ギ、又不當ナル義務ヲ齒科醫師ニ課スルヤノ疑ヒナカラシムルト云フヤウナ見地モゴザイマシテ、寧ロ進ンデ斯様ニ書キ分ケルコトガ、本條文ニ付テハ至當デアルト考ヘテ居ルノデアリマス

○山田(順)委員 第十一條ニ付キマシテ「醫師診療ヲ爲シタルトキハ本人又ハ其ノ保護者ニ對シテ療養ノ方法其ノ他體力ノ向上上必要ナル事項ノ指導ヲ爲スベシ、前項ノ規定ハ齒科醫師診療ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス」斯ウアリマスガ、此ノ第十一條ニ醫師、齒科醫師ト云フコトヲ入レレバ「前項ノ規定ハ齒科醫師診療ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準

用ス」ト云フノハ省イテモ差支ヘナイト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テ當局ハドウ考ヘテ居ラレマスカ
○山田(順)委員 第十四條ニ「治療、方法、經歷又ハ學位ニ關スル廣告ヲ爲スコトヲ得ズ」斯ウ書イテアリマスガ、一體此ノ廣告ト云フコトノ一ツノ定義デスガ、是ハ屋內ヲ指シテ廣告ト云フノデアルカ、例ヘバ治療所ニ或ル待合室ニ耳鼻咽喉科醫學博士某ト云フ風ニ假ニ實際問題トシテ掲ゲタ場合ニモ、ヤハリ是ハ廣告トシテ取扱フノデ

アルカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○加藤政府委員 廣告ト云フ字ハ從來通りノ意味ニ考ヘテ居リマス、只今御述ベニナリマシタヤウナ事例デモヤハリ廣告ニナルト考ヘマス

○山田(順)委員 サウ致シマス標札ハ醫學博士ト書キマスレバ、是ハ廣告ニナルノデアリマスカ、又名刺ニ醫學博士ト書ケバ、是ハ一ツノ廣告ニナリマスカ、之ニ對スル明確ナ御指示ヲ願ヒタイノデアリマス

○加藤政府委員 御話ノヤウナ場合、名刺ニ經歷トカ治療方法ヲ書ク場合ハアリマス、學位ヲ書クト云フコトハ、將來絕對ニ抑ヘル必要ハナイコトノヤウニ考ヘマス、唯其ノ名刺ヲ廣告ニ使用スルコトハ、是ハ相成ラヌコトニナルノデアリナカト思ヒマス、門標ノ場合ハ尙ホ一ツ能ク研究シテ見マス

○山田(順)委員 第十五條ノ二號ニ付テ昨日中村君カラモ質問サレテ居リマスカラ略スコトニハ致シマスガ、第十六條第十七條ニ關聯シテ質問シテ見タイト思ヒマス、昨日厚生大臣ノ説明ニ依レバ、現在ノ醫師會乃至ハ齒科醫師會ヲ改組スルト云フコトハ、公正ナル發達ヲ期スル爲ニ改組スルノダ、斯ウ云フコトヲ言ハレテ居リマスガ、サウスルト此ノ度此ノ法律ニ依ツテ出來上ル日本齒科醫師會乃至ハ日本醫師會、道府縣醫師會、道府縣齒科醫師會等ノ性格ハ、一體從來ノ日本道府縣醫師會、道府縣齒科醫師會ト、端的ニ申スト、ドウ云フヤウナ内容ニ於テ變ツタ點ガアリマスカ、御指示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○加藤政府委員 昨日資料ノ要求ガアリマシテ、今朝御手許ハ醫師會及ビ齒科醫師會

關係勅令案概要ト云フモノヲ御届ケ申上ゲ

テ居ルノデゴザイマスガ、只今御尋ネノ道府縣醫師會、齒科醫師會ニ付テ端的ニドウ性格ガ變ルカト云フ御質問ニ御答ヘ申上ゲマスガ、是等ノ醫師會ノ目的ガ先程モ御引例ニナリマシタヤウニ、十六條ニ於テ從來ト變リマシテ、國民體力ノ向上ニ關スル國策ニ協力スルヲ以テ目的ト云フノガ中央地方ノ醫師會ヲ通ジマシテ先ヅ違ツテ參ルノデアリマスガ、其ノ他ニ端的ニ申上ゲマス、醫師會會員ハ從來ノ開業醫ヲ以テ組成分子ト致シテ居ツタノデアリマス、改組後ニ於テハ道府縣内ノ開業、非開業ヲ問ハズ、醫師、齒科醫師ノ免許ヲ受ケタモノ全員ヲ以テ組織スルト云フコトニ相成ルノデ、是ハ其ノ性格ニ相當ノ變更ヲ來サシムベキ重要點デアラウカト思ヒマス、地方ニ於キマシテモ開業以外ニ勤務シテ居リマスル醫師、齒科醫師ノ有資格者ガ相當アラウト思フノデアリマス、ソレ等ノ人ガ全員ノ集ツタ團體デアルト云フ立場ニ於テ齒科醫師ニ付テモアラウト思フノデアリマスガ、殊ニ醫師ニ付テハ都會デハ相當性格ニ變ツタ點ヲ來スデアラウト思フノデアリマス、尙ホ醫師會ノ事業等ニ付テモ、從來ハ公法人ト致シマシテ地方道府縣醫師會デモ種々ノ事業ヲシテ來ラレタノデアリマスガ、主トシテ専ラ會員ノ職金ニ依ツテ事業ヲスルト云フ範圍ヲ出デナカツタノデアリナカト思フノデアリマス、是ハ先程御尋ネモアリ、次官ヨリ御答辯申上ゲタ通り、今後醫師會ニ期待スル所ガ國家的ニ大ナルモノガアルダケニ、唯會員タル醫師ノ職出等ノミニ依ツテ、サウ大ソレタコトヲシテ呉レト申上ゲルコトノ不可ナルコトハ、政府

ニ於テモ十分考ヘテ居リマス、現ニ明年度初メテ全國ノ道府縣醫師會ニ若干ナガラ補助金ヲ交付シテ、補習教育方面ノ活動ヲヤツテ戴キタイト云フ風ニ豫算モ計上シテ居ル次第デアリマス、此ノ種ノ事業ハ今後年々逐ウテ増加致スベキモノデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、是ハ一二ノ事例ニ過ギマセヌガ、其ノ他會長ノ選任方法ニ於ケル相違、或ハ理事其ノ他ノ職責ニ關スル問題、其ノ他段々ト改正ヲ致ス點ガアリマス、是等ガ綜合的作用ヲ發揮スルニ至リマスレバ、改組後ノ醫師會、齒科醫師會ハ、改組前ノモノニ較ベマシテ其ノ性格ニ於テ、色彩ニ於テ、活動分野ニ於テ、相當ノ相違ヲ來スデアラウト豫想シテ居ル次第デアリマス

○山田(順)委員 サウ致シマス、局長サノ御話ニハ今日ハ醫師會ヲ構成スル其ノ人達ガ餘程變ツテ來ル、今日マデハ開業シテ居ツタモノ、今後ハ資格ヲ持ツテ居ルモノ、乃至ハ資格ヲ持チ免許ヲ受ケタモノ、ソレヲ全部網羅スル、サウ致シマス、假ニ陸軍病院ニ勤メテ居ル軍醫ハソレニ包含サルベキモノデアリマスカ、其ノ點御伺ヒシタイ

○加藤政府委員 現ニ勤務致シテ居リマス軍醫ハ、醫師會ノ會員タルコトヲ除外シテ居ル方針ニヤツテ居リマス

○山田(順)委員 サウ致シマス、大體ハ所謂公立病院乃至ハ官立ノ學校ナリ病院ニ勤メテ居ルモノガ一切入ル、而モ資格ヲ持ツテ居ツテモマダ免許證ガ下ツテ居ナイト云フ人達モソレハ網羅サレルト云フコトニナリマスノデ、勿論其ノ範圍ガ擴大サレルコトハ結構ダト思ヒマス、ソコデ此ノ醫師會ニシテモ、齒科醫師會ニシテモ、其ノ構

成分子ハハツキリ分リマスガ、今度ハ其ノ

會ノ運用ニ對シテ一體ドウ考ヘルカ、例ハ現在ノ規定ニ依ルト道府縣醫師會ガアリ、郡市區醫師會ト云フモノガ存在シテ居リマス、又全國ニ郡齒科醫師會ノアル所モゴザイマス、所ガ今度郡市區醫師會ハナクナツデ、道府縣醫師會ト云フモノニナリマス、ソコデ縣ニ依リマシテハ醫師ガ少クトモ千人以上在住シテ居リマスケレドモ、會ノ運用カラ申シマスレバ、道府縣醫師會ト云フモノ、道府縣齒科醫師會ト云フモノガ、總會ヲ開ク上ニ於キマシテモ全部ノ醫師乃至齒科醫師ガ集マツテ總會ヲ開クト云フコトニナリマスガ、其ノ結成ヲスル上ニ於キマシテ、或ハ委員長ガドウ云フヤウニナルカ、或ハ又其ノ委員長ハ地方長官ガ任命スルト云フヤウニ承ツテ居リマスガ、ヤハリサウ云フヤウナコトニ依ツテヤルノカ、又醫師以外ノ人ガ此ノ構成分子ノ一翼ヲ承ルト云フヤウニモ承ツテ居リマスガ、此ノ點ヲモウ少シハツキリ御説明ヲ願ヒタイ

○加藤政府委員 道府縣醫師會、齒科醫師會ニ付テ御尋ネデゴザイマシタガ、道府縣醫師會ノ下ニ現在マデハ御話ノ通り郡市區醫師會、郡市區齒科醫師會ト云フモノガ最下級ノ法人トシテアツタノデアリマスガ、今回ハ郡市區醫師會、郡市區齒科醫師會ハ之ヲ法人トシテ存置セズ、自然人タル醫師、齒科醫師ガ直接道府縣醫師會ノ會員トナルト云フ風ニ改メマシタ點ヲ先ヅ御諒承ヲ御願ヒ致シマス、ソコデ道府縣單位ニ相成リマス、相當多數人ガ直接會員ニ相成ルト云フヤウナ不便ハナイカト云フ御趣旨ノヤウニ承ツタノデアリマス、當局ニ於キマシテモ左様ナ點ハ色々ト考ヘ、尙ホ醫藥制度調

査會等ノ審議モ煩ハシタノデアリマスガ、結局今後ハ郡市區單位ニ道府縣醫師會ノ支部ノ如キモノヲ設置サセルコトニ致シマシテ、各般ノ足掛リト申シマスガ、分任地域ト云フヤウナ仕組ニ於ケル郡市區毎ノ支部ノ如キモノヲ考ヘテ居ルノデアリマス、サウシテ支部ニハ支部長ノ如キモノヲ置キマシテ、道府縣醫師會ノ總會ハ是等ノ郡市區ノ支部長ト云フヤウナ人達ガ集マツテ、郡市區内ノ醫師ノ意見ヲ取纏メ、サウシテ道府縣醫師會ニ通ズル、或ハ上意下達ノ任ニ當ルト云フヤウナ方法ヲ執リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ道府縣醫師會ノ結成等ニ當リマシテモ、然レベキ人選ヲ地方長官ニ於テ致シマスガ、是等モ郡市區宛合ハセテ然レベキ選出方法ヲ講ズベキデハナイカト考ヘテ居リマス、尙ホ醫師會ニ醫師ニアラザル者モ組成分子トシテ入ルカドウカト云フ御質問デゴザイマスガ、是ハ醫師會ノ議員ニ特別議員ノ制度ヲ考ヘマシテ、是ハ任命ト云ヒマスガ、指名ニ依ツテ選出サセル、其ノ特別議員ノ中ニハ、醫師ニアラザル者モ適當ナ者ハ入レ得ル途ヲ開イテ置ク、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

ル所ニハ開業サセナイ、斯ウ云フヤウニ常識的ニ考ヘラレルノデアリマスガ、一定ノ行政區域ニ於キマシテ、醫師一人ノ戸數宛乃至人口宛ヲ政府ハ大體ドレ位ヲ標準トシテ考ヘテ居ルカ、又免許スル上ニ於キマシテ、サウ云フ數字ノ根據ヲ以テ免許スルノデアルカ、外ニ目安ヲ置イテ居ルノデアリカ、之ヲハツキリ承リタイ

開業シテ居ツタ、其ノ俸ガ學校ヲ出テ來タケレドモ其處ハモウ既ニ飽和狀態デアルカラ、其ノ俸デアツテモ其處開業シテハ相成ラヌ、法ノ取扱ノ上カラ申シマス、場合ニ依ツテハサウ云フヤウナ考ヘ方モ出來ルノデゴザイマス、斯ウ云フヤウナ點ニ付テハ實際問題トシテドウ云フ風ニ考ヘテ居リマスガ

○加藤政府委員 第二十一條ノ病院等ノ許可ニ關スル方針ニ付キマシテハ、御述ベニナリマシタヤウナ人口何人當リトカ云フヤウナ、單ナル數字ノ根據ヲ標準トシテノミ許否ヲ決定スル意向ハゴザイマセヌ、ヤハリ農村、都市ニ依ツテ事情モ違ヒマス、ソレトモ、既存ノ醫療機關ノ配置ノ狀況、其ノ他各般ノ事情ヲ考慮シマシテ、妥當ナル結論ヲ見出スコトガ必要ダト思ツテ居ルノデアリマシテ、唯此ノ町ニハ人口何人醫師ガ何人居ル、隨テ是レ以上イケナイトカ、何トカ云フ數字ノ基準ノミデ事ヲ決定致シマスコトハ結論ガ妥當デナイ、ノミナラズ色々ナ困難ヲ支障ヲ來スコトデアラウト思ヒマスノデ、都市、農村ソレトモノ事情ニ即シテ最モ妥當ナル措置ガ講ジ得ラレルガ如キ基準ヲ考ヘタイ、今ノ所斯様ニ存ジテ居ルノデアリマス

○加藤政府委員 此ノ許可ハ主トシテ地方長官ヲシテ之ニ當ラシメル考ヘデ居ルノデアリマシテ、其ノ地方長官ニ對シマシテハ本法案成立ノ曉ハ、許否ニ關スル只今申上ガマシタヤウナ趣旨ニ副ウタ基準ヲ通牒致シマシテ、其ノ線ニ沿ウテ實行ヲサセタイト思ツテ居ルノデアリマス、御示シノゴザイマシタ子供サンノ開業ト云フヤウナ相續ト云フヤウナ場合ニ付キマシテハ、是ハ勿論特別ナ取扱ヲ致シマシテ、必ズ是ガ後ヲ繼イデ開業出來マスヤウナ措置ヲ講ズル積リデ居リマス

○山田(順)委員 後ノ方ガ困ルト云ツテモ、質問スル所ヲチャント自分等ガ研究シテ當局ニ質問シヨウト云フコトデアツテ、ソレデ質問ノ程度ト云フモノハ別ニ委員長カラ示サレテ居ラスノデ、時間ハ大凡一時間ト云フコトハ聞イテ居リマスケレドモ、サウ云フヤウナコトハ甚ダ迷惑千萬デアリマス

○山田(順)委員 餘リ時間ガ經過致シマスカラ、尙ホ醫師會並ニ齒科醫師會ノ件ニ付テハ質疑ヲ重ネタイト思ヒマスガ、此ノ際止メテ置キマス、次ニ第二十一條ニ「病院、診療所又ハ産院ヲ開設セントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣又ハ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ノ許可ヲ受クベシ」ト云フコトニナツテ居リマスガ、是ハ大體開設ヲシヨウトスル者ハ手續ヲスル、サウ致シマス、醫師ガ比較的多ク開業シテ居

○山田(順)委員 安當ナル基準ヲ考ヘテ居ルト言ハレマスケレドモ、衛生局長サンハサウ云フ風ニ考ヘテ居リマシテモ、一體法律ト云フモノハ立案スル人ノ氣持ト云フモノト、之ヲ運用サレル人ノ氣持ト云フモノガ、ソコニ相當ノ懸隔ガアルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、其ノ點ハハツキリサセテ置ク必要ガアルヤウニ思フノデアリマス、實際問題トシテ、若シ其處ニ自分ノ親父ガ

○山田(順)委員 併シサウナルト初メニナル方ト終ヒニナル方トデハ大變ナ違ヒガ出來テ來ルノデス、質問ナサル方ハドナタモ皆研究シテオイデニナルト思フノデス

○山田(順)委員 ソレデハ私端折リマス

○紫安委員長 第二十二條第二十四條ヲ一括シテ質問致シマス、第二十二條ニ「二年以内主務大臣ノ指定スル業務ニ從事スベキコトヲ命ズルコトヲ得」ト云フコトガアリマス、又第二十四條ニ「修習ヲ爲サシムルコトヲ得」ト云フコトガアリマス、此ノ「二年以内主務大臣ノ指定スル業務」ト云フコトハ、是ハ私共ノ考ヘト致シマシテハ、學校ヲ出タ者ハ少クトモ一年二年ハ研究シテ技術ノ向上ト、サウシテ理論ニ對スル所ノ相當ノ檢討ヲシテ、全ク國家ノ爲ニ有用ニ役立ツヤウナ醫人ヲ作り上ゲナケレバicastト思フ、サウ云フヤウナ場合ニ於キマシテ一體ドウ云フヤウナ方針ヲ以テ其ノ業務ニ從事セシメルノデアルカ、又第二十四條ノ「修習ヲ爲サシムルコトヲ得」ト云フコトニ付テハ、是ハ最モ良イコトト思ヒマスガ、此ノ修習ヲ爲サシムル所ノ所謂對象物トシテ、例ヘバ病院トカ、或ハ學校ノ附屬病院、サウ云フヤウナ方面ニ於テ修習セシメルノデアルカ、其ノ點ヲ簡潔ニ一ツ御答

○山田(順)委員 餘リ時間ガ經過致シマスカラ、尙ホ醫師會並ニ齒科醫師會ノ件ニ付テハ質疑ヲ重ネタイト思ヒマスガ、此ノ際止メテ置キマス、次ニ第二十一條ニ「病院、診療所又ハ産院ヲ開設セントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣又ハ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ノ許可ヲ受クベシ」ト云フコトニナツテ居リマスガ、是ハ大體開設ヲシヨウトスル者ハ手續ヲスル、サウ致シマス、醫師ガ比較的多ク開業シテ居

○山田(順)委員 安當ナル基準ヲ考ヘテ居ルト言ハレマスケレドモ、衛生局長サンハサウ云フ風ニ考ヘテ居リマシテモ、一體法律ト云フモノハ立案スル人ノ氣持ト云フモノト、之ヲ運用サレル人ノ氣持ト云フモノガ、ソコニ相當ノ懸隔ガアルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、其ノ點ハハツキリサセテ置ク必要ガアルヤウニ思フノデアリマス、實際問題トシテ、若シ其處ニ自分ノ親父ガ

○山田(順)委員 併シサウナルト初メニナル方ト終ヒニナル方トデハ大變ナ違ヒガ出來テ來ルノデス、質問ナサル方ハドナタモ皆研究シテオイデニナルト思フノデス

○山田(順)委員 ソレデハ私端折リマス

○紫安委員長 第二十二條第二十四條ヲ一括シテ質問致シマス、第二十二條ニ「二年以内主務大臣ノ指定スル業務ニ從事スベキコトヲ命ズルコトヲ得」ト云フコトガアリマス、又第二十四條ニ「修習ヲ爲サシムルコトヲ得」ト云フコトガアリマス、此ノ「二年以内主務大臣ノ指定スル業務」ト云フコトハ、是ハ私共ノ考ヘト致シマシテハ、學校ヲ出タ者ハ少クトモ一年二年ハ研究シテ技術ノ向上ト、サウシテ理論ニ對スル所ノ相當ノ檢討ヲシテ、全ク國家ノ爲ニ有用ニ役立ツヤウナ醫人ヲ作り上ゲナケレバicastト思フ、サウ云フヤウナ場合ニ於キマシテ一體ドウ云フヤウナ方針ヲ以テ其ノ業務ニ從事セシメルノデアルカ、又第二十四條ノ「修習ヲ爲サシムルコトヲ得」ト云フコトニ付テハ、是ハ最モ良イコトト思ヒマスガ、此ノ修習ヲ爲サシムル所ノ所謂對象物トシテ、例ヘバ病院トカ、或ハ學校ノ附屬病院、サウ云フヤウナ方面ニ於テ修習セシメルノデアルカ、其ノ點ヲ簡潔ニ一ツ御答

辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○加藤政府委員 二十二條ハ新タニ醫療關係者トナリタル者ニ對スル規定デゴザイマスガ、國家的の見地カラ考ヘマシテ、ドウシテモ必要缺クベカラザル施設ニ於キマシテ醫療關係者ヲ充足スルコトガ出來ナイ場合、之ヲ充足シ得ルノ途ヲ開カントスル趣旨ニ出タモノデアリマス、二十四條ハ是ト異リマシテ既ニ醫療關係者トナツテシマツテ、多クハ相當ノ年所ヲ經タ人達ニ對スル修習デアリマス、御指摘ニナリマシタヤウナ學校其ノ他ニ於テモ、此ノ修習ヲ受ケシムル場合ガアラウカト考ヘテ居リマス

○山田(順)委員 次ニ醫療團ニ付テ質問申上デマス、醫療團ハ此ノ規定ニ依リマスルト、一億方圓國ガ之ヲ出資シテ、サウシテ之ニ五倍ノ所謂醫療證券ト申シマセウカ、國債證券ト申シマセウカ、サウ云フヤウナモノヲ發行致シマシテ、兎ニ角六億方圓ヲ以テ此ノ醫療團ノ經營ニ當ルヤウニ考ヘラレノデゴザイマスガ、其ノ目標トシテ一體ドウ云フヤウナモノヲ經營スルノデアアルカ、第四十九條ニ「日本醫療團ハ左ノ業務ヲ行フ、病院、診療所及產院ノ經營」斯ウ云フコトヲ書イデアリマス、聞ク所ニ依リマスレバ、少クトモ濟生救民ノ實ヲ舉ゲテ行カウ、所謂社會政策の見地ニ立ツテ此ノ醫療團ガ活動ヲシテ行ク、其ノ點カラ考ヘマシテ、特殊ノ患者、所謂結核患者乃至ハ精神病患者、花柳病患者、是等ノ方面ニ對シテ一ツノ醫療ヲ徹底サセテ行カウ、隨テ醫療團ハ所謂結核療養所ヲ主トシテ經營ノ對象トシテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマスルガ、此ノ點ニ付テ先ヅ第一ニ御伺ヒシタイト思ヒマス

○武井(群)政府委員 此ノ點ニ付キマシテハ、昨日モ一寸申上ゲタノデアリマスルガ、「病院、診療所及產院ノ經營」ト書イデアリマスル具體的ナ内容ト致シマシテハ、一般ノ診療ヲ行フ所ノ病院ノ經營ヲ致スモノト思ヒマス、ソレカラ更ニ特殊疾病ニ付キマシテハ結核其ノ他色々ゴザイマスガ、醫療團ト致シマシテハ、結核ノミヲ取上ゲテ是ノ療養施設等ヲ相當完備致シタイト考ヘテ居リマス

○山田(順)委員 サウ致シマスルト、普通患者ハ取扱ハナイト云フコトニナリマスルカ

○武井(群)政府委員 普通患者ト云フ御言葉ハ一般人ト云フ意味デスカ

○山田(順)委員 サウデス

○武井(群)政府委員 一般公衆ト申シマスルカ、國民一般ノ醫療ヲ掌リ積リデ居リマス

○山田(順)委員 サウ致シマスルト、先ヅ結核療養所ヲ經營スルト云フコトニ付テハ、ハ國民健康保險ノ方カラ申シマシテモ、健康保險ノ方カラ申シマシテモ、此ノ點ニ付テハ若シ結核患者ガ被保險者デアツテモ、中々經費ノ點ニ付テハ相當收支ガ償ハヌデハナカラウカト思ヒマスシ、又其ノ療養所ヲ經營シテ行ク上ニ於キマシテハ、勿論國家ガ一切ノ費用ヲ負擔スルノガ當然ノ歸結ノヤウニ考ヘラレノデアリマス、隨テ今度ハ病院ヲ經營シ、診療所モ經營スルト云フコトニナリマスレバ、此ノ規則カラ申シマスルト、東京ニ其ノ本部ヲ置イテヤルト云フコトデアアル、聞ク所ニ依リマスルト、東京乃至大阪ニハ相當ノ專門綜合病院ヲ經營スルト云フコトヲ言ハレテ居ル、又各府縣ニ對シテモ病院ヲ經營スルト云フコトヲ言ハレテ居ルノデゴザイマスルガ、

若シサウ致シマスレバ、其ノ病院ヲ經營スルナラバ其ノ病院ヲドウ云フ風ナ病院ヲ差詰メ此ノ醫療團ノ中ニ包含シテ行クノデアアルカ、或ハ産業組合ノ經營スル所ノ病院デアアルカ、或ハ公立病院ヲ此ノ醫療團ノ中ニ吸收シテ行クノデアアルカ、サウ云フヤウナ點ニ付テ大體ノ施策ガアラウト考ヘマスルガ、此ノ點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○武井(群)政府委員 此ノ點ニ付キマシテハ、日本醫療團ガ醫療ノ普及ト醫療内容ノ向上ト云フコトヲ目途ト致シテ居リマスノデ、一ツノ組織立ツタ系統的ノ病院、診療所等ヲ設ケタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、隨テ有機的ノ組織ニ致シマス關係上、ソレニ必要ナル場所ニ公立病院、或ハ産業組合ノ病院等ガアリマスレバ、ソレヲ買収スルナリ或ハ借受ケルナリ、乃至ハ出資ヲ求メルト云フヤウナコトモアルカト思ヒマス、併シ初メカラドノ病院ヲ買収スル、ドノ産業組合ヲ讓受ケルト云フヤウナコトヲ豫定シテ居ル譯デハゴザイマス

○山田(順)委員 結核療養所ヲ經營スル上ニ於キマシテ、現在結核療養所ノ「ベッド」ガ二万「ベッド」アルト云フコトヲ聞イテ居リマス、サウ致シマス結核療養所ヲ經營スル目標ト致シマシテ、一體ドレダケノ「ベッド」ヲ増大シテ行クノデアアルカ、ソレニ要スル費用ハ凡ソドレダケヲ充テテ居ルカ、又殘餘經費ニ依ツテ一體公立病院乃至ハ産業組合ノ病院ヲドノ位ノ資本ノ程度デソレヲ吸收統合ト申シマスカ、現物出資ニ依ツテ之ヲ國債證券ト振替ヘテ行クト云フ大體ノ目安ヲ持ツテ居ルト考ヘテ居リマス、此ノ點ニ付テハ詳細ヲ伺ヒシタイト思ヒマス

○武井(群)政府委員 先ヅ結核ニ付テノ御尋ネデアリマスガ、仰セノヤウニ極ク常識的ニ結核ノ「ベッド」十萬床ヲ作ラナケレバナラヌト云フコトハ朝鮮ニ於テ行ハレテ居ル說デアリマス、然ル所今日實際ニ設備サレテ居リマス結核病床ハ僅カ二萬足ラズデアリマスノデ、今後急速ニ結核病床ノ充實ヲ圖リタイト思ツテ居リマス、日本醫療團ノ差詰メ五箇年ノ事業計畫ト云フコトデ、其ノ間ニ先程御話ノアリマシタヤウナ政府出資一億圓ト其ノ五倍ノ醫療債券トヲ發行致シテ、約六億圓ノ金ヲ以テ此ノ仕事ヲ致スコトヲ考ヘテ居リマスノデ、今申上ゲタコトト見合ハセテ急速ニ結核ノ病床ヲ造リタイ、而シテ是ハ先程御尋ネニナツタコトデアリマスガ、結核ノ患者ニ付キマシテハ、相當數ヲ無料ニシナケレバナリマイト思ツテ居リマス、ソレト先程申上ゲマシタヤウナ一般ノ病院ノ經營ヲスルコトニナリマスノデ、之ヲ五箇年間ニ六億圓ノ金ヲ經營スルト云フ一ツノ大キナ枠ヲ嵌メテ居ル譯デアリマスガ、最後ニ御尋ネニナリマシタ産業組合ヲ幾ツ、或ハ公立病院ヲドレダケ統合スルカト云フヤウナコトニ付キマシテハ、マダ具體的ノ目標ハ立ツテ居リマセエ、其ノコトダケヲ申上ゲテ置キマス

○山田(順)委員 最初ノ昭和十七年度ニ於テ凡ソドレ位ヲ支出スル方針デアアルカ、サウシテ醫療債券ヲ發行スルコトニナリマスレバ、將來ニ對スル利率ハ一體ドウ云フヤウニ考ヘテ居リマスカ

○武井(群)政府委員 出資ハ五箇年間ニ一億ト云フコトニナツテ居リマスノデ、十七年度ニハ二千萬圓ノ政府出資ヲ求メルコトニナツテ居リ、別途豫算ニ計上シテ要求中

デアリマス、隨テ之ニ五倍スル所ノ醫療債
券ヲ發行スルコトニナツテ居リマス、其ノ
利率ハ大體四分三厘以内ト云フ見込ヲ付ケ
テ居リマス

○山田(順)委員 サウ致シマス、日本醫
療團ノ經濟ノ上ニ於キマシテ、少クトモ結
核療養所ノ經營ノ上ニ於キマシテハ、所謂
十萬「ベッド」ヲ目標トスル、今日二萬「ベッ
ド」ヲ持つテ居ル、八萬「ベッド」ヲ新タニ
造ル、其ノ八萬「ベッド」ニ對スル建設費ト
云フモノガ六億圓ノ中カラ支出サレルコト
ト考ヘテ居リマスガ、其ノ經常費ト云フモ
ノニ對シテハ國家ガ之ヲ補助スルコトノヤ
ウニ考ヘラレマスガ、其ノ補助ニ付テハ一
體ドウ云フ風ナ數字ヲ持つテ居ラレマスガ、
又醫療團ノ經濟ノ上ニ於キマシテハ、一般
病院ヲ經營スル、產院ヲ經營スル、診療所
ヲ經營スルト云フコトニ付キマシテハ、少
クトモ經濟ノ内容ヲ私ハ分類シテ經營サセ
ナケレバ其ノ趣旨ヲ徹底スルコトガ出來得
ナイノデヤナイカト思フノデアリマスガ、
一體醫療團ノ經濟ノ内容ハ結核療養所、普
通病院、診療所、產院等ノ經濟ヲゴツチャ
ニヤツテ行クノデアルカ、其ノ點ヲ御伺ヒ
致シタイト思ヒマス

○武井(群)政府委員 只今ノ御趣旨能ク了
解致シマシタ、當局ノ計畫ト致シマシテモ
結核ノ體系ト一般ノ體系ト別個ニ扱ヒマ
ス、隨テ會計ニ於キマシテモ一般會計ト特
別會計ト云フ風ニ致シマシテ、之ヲゴツチ
ヤニスルト云フ考ヘラ持つテ居リマセヌ、
附加ヘテ申上ゲマスガ、左様ニ致シマス
ト、大體ニ於テ一般診療ニ付テハ收支償フデ
アラウト思ヒマスガ、結核ニ關シテハ不足
ヲ生ズルデアラウト思ヒマス、ソコデソレ

等ニ付キマシテハ極力赤字ノ出ルコトヲ防
ギマスケレドモ、必要ナル費用ニ付キマシ
テハ政府ヨリ更ニ別途補助スルコトニ法
案モ定メラレテ居ル譯デアリマス

○山田(順)委員 第七十三條ニ於キマシテ
「毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス
ルコトヲ得」トナツテ居リマスガ、其ノ補助
金ハ一體年々ドレ位交付スルコトノ大凡ノ
案ヲ持つテ居リマスガ、其ノ片鱗ヲ伺ヒタ
イト思ヒマス

○武井(群)政府委員 七十三條ハ今申上ゲ
タヤウナ趣旨ヨリ定メントスルモノデアリ
マスガ、其ノ金額ニ付キマシテハ豫メ豫定
シタモノハゴザイマセヌ、ナゼナラバ是ヨ
リ八萬「ベッド」ヲ建設スルニ致シマシテモ資
材關係ヲ睨合ハセナケレバナリマセヌ、隨テ
新築スルモノモアリマセウシ、或ハ又空
家其ノ他ノ民家ヲ買收スルコトモナイトハ
限リマセヌ、何トカ致シマシテ「ベッド」ノ急
造ヲ圖リタイ、何年度ニドノ位不足スルト
云フコトハ豫メ決メル譯ニハ參リマセヌ、
此ノ點ハ毎年度豫算編成ノ際ニ過去ノ實情
ヲ精査致シマシテ、大藏當局ト交渉スルコ
トニナラウト思ヒマス

○山田(順)委員 日本醫療團ノ役員ト申シ
マセウカ、總裁、副總裁各一人、理事五人
以上、監事二人以上、斯ウ云フコトガアリ
マスガ、一體總裁、副總裁、理事、監事ト
云フモノハドウ云フヤウナ人ヲ目安トシテ
人選スルノデアルカ、又此ノ規則ニ依リマ
スト理事五人以上トアリマスガ、一體理事
五人以上ト云フコトニナルト、十人デモ二
十人デモ三十人デモ宜イ譯デアリマス、斯
ウ云フヤウナコトヲ規定スル場合ニハ、理
事十人以上、監事五人以内トスベキデアル

ト思フガ、此ノ點ヲ一ツ御伺ヒシタイ
○武井(群)政府委員 御尤モノ御尋ネデア
リマスガ、五人以上、二人以上ト云フノハ
深イ意味ハゴザイマセヌ、他ノ此ノ種ノ法
人ニ關スル立法例ヲ參酌シタダケデアリマ
シテ、當局ノ見込ト致シマシテハ理事ハ大
體五、六人、監事ハ二人若シクハ三人ト考
ヘテ居リマス、人選ニ付キマシテハ具體的
ニマダ何モ考ヘテ居リマセヌガ、大キナ方針
ニ付キマシテハ事國民醫療ニ關スルコトデ
アリマスノデ、全醫界ニ信望ヲ存スル人ヲシ
テ其ノ職ニ當ツテ貫ハウト考ヘテ居リマス
○山田(順)委員 日本醫療團ニ參與、理事
ヲ置クト書イテアリマシテ、參與、理事ハ
地方長官ト云フコトニナツテ居リマスガ、
大體政府當局ノ説明ニ依リマスレバ所謂道
府縣醫師會、齒科醫師會、是等ノ代表者ト
云フモノハ地方長官ガ推薦指名スル、又日
本醫師會、日本齒科醫師會ニ於キマシテハ
厚生大臣ガ指名推薦スルコトニナツテ居リ
マス、サウ云フヤウナコトデ所謂公正ナル
發達ヲ基礎トシテ改組シタ故ニ、此ノ日本
醫療團トハ表裏一體トナツテ、所謂參與、理
事ニハ日本醫師會ノ會長デアルトカ、或ハ
縣ニ於テハ道府縣ノ醫師會ノ會長デアルト
カラ睨合ハセテ行クト云フコトガ、日本醫
療團ト醫師會トガ相協力シ合ツテ經營ガ出
來テ行ク所以デハナイカト想像致シマスル
ガ、特ニ地方長官ヲココニナルト云フコト
ヲ法規ノ上デ決メタノニハ、何カ大キナ理
由ガアルノデスカ、此ノ點ヲ御伺ヒシタイ
ト思ヒマス

○武井(群)政府委員 御趣旨ノ點ハ御同感
デアリマスルガ、地方長官ヲ參與、理事ニ致
シマシタ趣旨ハ、段々御説ノヤウニ、又私ガ

申上ゲマシタヤウニ、全國ニ互ツテ結核ノ
療養所ヲ作ラナケレバナラス、ソレカラ又
一般ノ病院、診療所ヲ開設經營シナケレバ
ナラナイ譯デアリマス、中ニハ買収ナリ、
讓受ナリ、出資等ヲ求メル場合モアリマス、
斯様ナ譯デアリマスルノデ、日本醫療團ガ
全國ニ互ツテ仕事スル場合ニ於テ、地方
長官ト密接ナル關係ヲ保ツ必要ガアリマ
スノデ、ソコデ謂ハバ日本醫療團ノ各府縣
ノ支部長トデモ云フヤウナ格ニ地方長官ヲ
据エテ置クトガ、敷地ノ買収、病院ノ建
設、職員ノ選擇等ニ於テ非常ニ都合ガ好イ
ト思ツテ居ルノデアリマス、ソコデ有體ニ
申シマス、左様ナ職デアレバ、理事ト云
フコトニシタ方ガ宜イデハナイカト云フコ
トニナルノデスカ、理事ニナルト、地方長官
ノ異動毎ニ登記ヲシナケレバナラスト云フ
手數ガアルノデアリマシテ、其ノ手數ヲ省
ク爲ニ特ニ參與、理事ト云フ職名ヲ付ケテ法
文ニ書イタ譯デアリマス、サウシテ實際ニ
於キマシテ、其ノ地方長官ガ支部長ト云フ風
ニシテ、陰ニ陽ニ此ノ仕事ノ應援ヲシテ貫ヘ
ルヤウナ組織ニ致シタイト考ヘテ、茲ニ地
方長官ノ職ニアルモノヲ參與、理事ト云フコ
トニ明カニ致シタ譯デアリマス、醫療團ト
醫師會トノ關係及ビ其ノ運営ニ付キマシ
テハ、全ク御説ノ通りデアリマシテ、兩者
ガ表裏一體ニナツテ參ルコトガ最モ望マシ
イコトデアル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○山田(順)委員 今地方長官ヲスルコトガ
登記ノ點ニ於テ便宜デアルト云フヤウニ伺
ヒマシタガ、ソレナラバ地方長官ガ更迭ス
ル度ニ登記ヲスルヨリモ、寧ろ縣醫師會ノ
會長ナラ會長ニシテ置クトガ一番好都合
デハナイカト思ヒマス、次ニ伺ヒタイコト

午前十一時五十六分休憩

午後一時二十八分開議

○紫安委員長 開會致シマス——羽田君

ハ各縣ニ日本醫務團ノ事務所ガ出來ルヤウニ考ヘマス、恐ラクソレハ病院ガ中心トナツテ事務ヲ取扱フコトト思ヒマス、ソコデ醫務關係者ノ指導及ビ鍊成ヲスルト云フコトガ言ハレテ居リマスガ、サウスルト各縣ニ醫療ニ對スル所ノ相當精銳ナル施設ヲ致シマシテ、ソコデ一般開業醫ノ修習鍊成ヲサセルト云フ目標ノ下ニ指導鍊成ト書イテアルノデアルカ、又特ニ其處ニ研究所ヲ置イテ、ソコデ一般開業醫ニ研究サセルノデアルカ、此ノ點ニ付テ詳シク御發表ヲ願ヒタイ

○武井(群)政府委員 日本醫務團ハ新タニ

醫師タラントスル者ノ養成ハ致サナイ積リデ居リマスガ、現在アリマスル醫師ニ對シテ補習教育乃至ハ是ガ指導ヲスルコトハ必要ト考ヘマシテ、四十九條ノ二號ニ、日本醫療團ノ經營スル所ノ病院、診療所及産院ノ醫療關係者ノ指導及鍊成ヲスルコトヲ其ノ業務ノ一ツトシテ掲ゲタノデアリマス、ソレヲ何處デヤルカニ付テハ、是ハ各府縣デ皆ヤラウトハ考ヘテ居リマセス、地方ニ依リソレニ適當スル場所ガアリ、又修習ヲ要スル醫師ガ澤山アル場合ニ於テハ其處デヤルコトガ結構ト思ヒマスガ、又中央乃至ハ重要箇所ニ是等ノ施設ヲ拵ヘテ、是ガ運營ニ當ルト云フコトモアラウト思ヒマスガ、マダ具體的ニハ豫定シタモノハゴザイマセス

○山田(順)委員 ソレデハ私ハ尙ホ資材關係等ニ付テ伺ヒタイ點ガアリマスガ、此ノ質問ヲ始メマス長クナリマスカラ、之ヲ留保シテ醫療團並ニ健康保險ニ關スル質問ハ是デ打切りマス

○紫安委員長 ソレデハ是デ休憩致シマス、午後一時カラ再開スルコトニ致シマス

○羽田委員 私ハサウ長ク申シマセスガ、

國民體力法ニ關聯ヲ致シマシテ、此ノ對象デアル所ノ青少年ノ集團ヲ致シテ居ル工場等ニ於ケル青少年ノ體力管理ニ付テ、竝ニ保健問題ニ付テ一言先ヅ第一ニ質問ヲ致シタイ、最近ノ工場等ニ於キマシテ吾々ノ知ツテ居ル範圍ノ者ニ聞イテ見マス、青少年工ニ對シマシテ年配ノ職工達ガ色々喰カシマシテ、花柳ノ巷等ニ出入ヲ致シテ、ソレガ爲ニ殆ド知識ノナイ立場カラ花柳病ニ傳染スル者ガ非常ニ多イト云フヤウナ實情ヲ聞カサレマシテ、非常ニ心ヲ暗ク致シテ居ル譯デアリマス、何レニ、三年經テバ第一線ノ壯丁トナルベキ青少年ガ、斯ウシテ風紀ノ悪い工場ニ於ケル先輩ノ爲ニ斯ウ云ツタ病氣ニナルト云フヤウナ點ガ多タルヤウデゴザイマス、之ニ付テドウシテモ工場ノ監督ヲ強化シテ行ク、國民ノ體力ヲ増進シ、健康ヲ保持スル上カラ云ツテモ、モウ少シサウ云フ方面ノ工場監督ヲ厚生省方面ニ於テモ十分ニ留意ヲ致シテ戴キタイト思フノデアリマス、尙ホ工場ノ一ツノ氣風ト申シマスガ、サウ云フノガ跋扈ヲシナイヤウナ氣風ヲ工場ニ作ルト云フヤウナ方面ニ特別ナル厚生省ノ方ニ施設ガアリ、又指導ヲセラレテ居リマスカドウカ、ソレヲ先ヅ御聽キ致シマス

○武井(群)政府委員 只今御話ノ點ハ至極

御尤モナコトデアリマシテ、厚生省ニ於テモ左様ナコトノナイヤウニ、心ヲ配ツテ居ル譯デアリマスガ、是ガ對策ト致シマシテ

ハ、一面ニ於テハ今回御審議ヲ願ツテ居リ

マス國民體力法ノ適用範圍ノ擴張ニ依リ、而シテ又同時ニ是等若イ者ニ對スル體力検査ノ勵行、就中鑛山工場等ニ於テハ、年二回ノ定期ニ體格検査ヲシヨウト云フヤウナ制度ニ改正スルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、斯様ニ致シマシテ體力ノ増強トカ、國民健康保健ノ増進ト云フ方面ニ之ヲ仕向ケテ行キタイト考ヘテ居リマス、同時ニ又御指摘ニナリマシタ花柳病ニ付キマシテハ、一面ニ於テ斯様ナ病氣ニナルコトハ御國ノ爲ニ洵ニ濟マスコトダ、恥カシイト云フ觀念ヲ強ク植付ケナケレバナラスコトデアリマスノデ、之ニ付キマシテハ、大政翼賛會ヤ産業報國會ノ運動等ニ多大ノ期待ヲ掛ケマシテ、是等ノ方面ヨリ各工場等ニ於キマシテ、自守的ニ自發的ニ此ノ運動ヲ起サセルコトガ最モ大切カト思ヒマシテ、此ノ方面ニモ連絡ヲ執ツテ居ル次第デアリマス

○羽田委員 只今ノ御話デスト、私ハモツ

ト積極的ニヤツテ戴キタイト思フノデアリマスガ、殊ニ醫學ヲ織リ混ゼタ科學思想ヲ青少年ノ中ニ深ク織込マスヤウニ、一ツ工場方面ノ監督又ハ指導ト云フヤウナコトヲ少シクヤツテ戴キタイト思フノデアリマス、ドウシテモ知識ヲ先ヅ與ヘルト云フ方面ニ御願ヒヲ致シタイト思ヒマスガ、何カサウ云フコトニ付テ特別ナ御考ヘハゴザイマセヌデセウカ

○武井(群)政府委員 御尤モト存ジマス

勞働局ニ關スル限りニ於キマシテハ、各工場ニ工場醫ヲ設置ヲ勵行致シテ居リマス、斯様ニ致シマシテ特ニ工場ニ於キマシテハ、一方工場醫ノ立場ニ於キマシテ御セノヤウナ知識ノ普及認識等ニモ力ヲ添ヘタイト考

ヘテ居リマス

○羽田委員 工場醫ト云フ者ハ大體検査ト

カ、サウ云ツタ方面ノコトガ主デアツテ、知識ヲ入レルト云フコトニ割合ニ今マデ少イノデヤナイカト思フノデアリマスガ、モツト科學知識ヲ入レル、豫防ト云フ方面ニモツト力ヲ入レテ戴キタイト思フノデアリマス、此ノ點ダケ一寸御願ヒシテ置キマス、ソレカラ次ニヤハリ少年ノ問題デアリマスガ、最近厚生省ノ御指圖デ以テ例ノ徵用工員ヲ、十六歳ノ少年デアリマスガ、採用動員致シテ居ルヤウデアリマス、此ノ實情ニ付テ洵ニ遺憾ナ點ガゴザイマスノデ、此ノ點ヲ御訂正ヲ願ヒ、此ノ若キ人達ノ健康上ニ御考慮願ヒタイノデアリマス、ソレハ最近此ノ徵用工員ニ應募シテ行クニ付キマシテ、職業指導所或ハ工場カラ通知ガゴザイマシテ、大體私ノ郷里ノ長野縣ノ如キニ於キマシテハ數團ハ一揃、衣類ハ二組、小遣ヒトシテ半月分ノ食糧ヲ持つテ來イ、斯ウ云フ御通知ガゴザイマスガ、大體最近ノ物價高ノ關係カラサウ云フモノヲ入手スルニ困難デアリマスガ、大體一通リノ身仕度ヲ揃ヘルノニハ百五十圓乃至二百圓ノ金ガ掛ルヤウデアリマス、而モサウ云ツタ工合ノ徵用デゴザイマスカラ、何レモ兵隊ニ動員サレタト同様ナ氣持ヲ以テ村デモ兵隊ト同様ニ之ヲ送り出スノデアリマス、送り出シテ勇ンデ工場ニ着イテ見マス、工場ニ於ケル所ノ給與方面デ可ナリ缺陷ガアルヤウニ考ヘルノデアリマス、先ヅ大體ハ賃金統制令ノ關係モアリマスガ、一日ノ日給ガ八十錢程度デゴザイマスノデ、三十日マルマルヤリマシテモ二十四圓ノ給與デアリマス、其ノ他若干ノ食費ヤ其ノ他ニ付テノ

政府ノ補助モアルヤウデゴザイマスガ、ソレニ致シマシテモソレハ大シタコトハゴザイマセス、然ルニ工場ニ於テノ食費ハドノ位カト云ヒマス、二十圓位掛ルヤウデゴザイマシテ、結局二十圓ノ食費ヲ二十四圓ノ中カラ控除サレテシマフ、其ノ他工場デ働ク衣類トカ、ズボントカ、サウ云ツタ種類ノモノモ月賦デ支拂ツテ居リマスノデ、殆ド本人ノ手ニ波ルノハ非常ナ少額ナモノデゴザイマス、是ハ一月ノ十日間ノ勘定デアリマスガ、十日間ニ色々差引カレマシテ、三十六錢シカ本人ニ手渡シナラナイト云フ實例——本人ノ支拂ヲ受ケタ袋ガ此處ニゴザイマスガ、ソレニ依ルト三十六錢ノ差引支拂額ト云フヤウナモノシカ支拂ヲ受ケナイト云フヤウナ現實ノ問題デアリマス、本人ハ食ヒ盛リデアリマスシ、發育盛リノ時代デアリマス、隨テ工場ノ給與ガ割合ニ薄イ爲ニ非常ニオ腹ガ空クト云フヤウナコトデ、買食ヒヲ致サナケレバナラス、ツイ自分ノ稼ギダケデハ間ニ合ハズニ、家庭ニ其ノコトヲ懇エテ送金ヲ仰グト云フヤウナ實情ニナツテ居ル、大體父兄ノ方ト致シマシテモ自分ノ俸ガ華々シク送ラレテ行ツテ、サウシテ工場ニ於ケル所ノ給與ガ非常ニ少ナク、又十分デナイト云フコトデ、其ノコトヲ泣イテ手紙ニ懇エテ來ラレマス、大抵ノ親トシテハ子供ノ可愛イサニ金ヲ送ツテヤルト云フヤウナ譯デゴザイマシテ、大體吾々ノ方ノ狀況ヲ見マスルト、月二十圓乃至十五圓、多イ人ハ二十圓位ノ送金ヲ子供ノ手許マデ致シテ居ルヤウナ實情デアリマス、隨テ父兄ノ方ト致シマシテハ、殊ニマダ小サイ子供ガ國家ノ爲ニ徵用サレテ銃後ニ於テ大砲ヲ造ルノダト云フ氣持デアリマスカラ、父兄ト

致シマシテハ表ニ立ツテ文句ハ申シマセスガ、併シ斯ウ云フヤウナ實情ガ長ク續クト云フヤウナコトデアツテハ、大東亞戰爭遂行ニ當ツテ、本當ニ國民ノ心カラノ協力ヲ仰イデ銃後ノ軍需工業ヲ圓滑ニ運営シ、又本當ニ眞心ヲ持ツテヤツテ居ル父兄達、或ハ子供達ノ本當ノ心ヲ捉マヘテ行ク所以デナイト思フノデアリマス、隨ヒマシテ父兄トシテハ徵用ト云フコトデアリマスカラ、餘リ文句ヲ言ハナイト云フヤウナ實情ニゴザイマスノデ、ソレダケニ政府トシテモ、厚生省トシテハ餘程是等ノ工場ノ現狀ニ付テハ監督權ヲ強化スル必要ガアルカト思フノデアリマス、ゾコデ問題ナノハ、私共トシテハ成程八十錢ノ金デ以テ給與サレルト云フコトデアツテハ、今言ツタ工合ニ差引キヲスルト僅カナモノデ、父兄カラ送金ヲ仰ガナケレバナラスト云フヤウナ譯デアリマスカラ、寧ろ食糧トカ、殊ニ蒲團ノ如キハ持ツテ來サシテモ結構デアリマスルガ、其ノ蒲團ヲ工場デ買上ゲサセルトカ、或ハ食糧其ノ他ニ付テハ實物ヲ以テ給與シテ、而モサウ云フ少年工デアリマシテ、何レハ總テ第一線ニ立ツベキ人達デアリマスルカラ、ソレ等ノ健康ヲ保持スルト云フコトハ、餘程國家ノ爲ニモ重大デアリマスルノデ、食糧ノ如キモ相當量餘計ニ給與スルヤウナ工合ニ農林省其ノ他トモ御打合せヲ願ツテ、實物給與ト云フ風ニシテ、其ノ上ナラバ三圓ナリ五圓ナリノオ小遣ヒデアツテモ、昔ノ丁稚奉公ニ行ツタヤウナ譯デアリマシテ、ソレダケノモノデアツテモ食フコトト着ルコトト寝ルコトトハ差支ヘナイ、斯ウ云フ譯ニナリマスノデ、サウ云ツタ實物給與制度ト云フモノヲ取入レテ載クヤウナ譯ニ行

キマセヌカ、ソレヲ一寸先ヅ御伺ヒ致シテ置キマス
○塩原政府委員 只今ノ御質問ニ對シテ御答ヘ致シマスガ、徵用致シマス場合ニハ、其ノ徵用工員ヲ使ヒマス工場トカ、或ハ事業場ニ於テハ、是非トモ工員ヲ入レル宿舎デアルトカ、或ハ寢具ト云フヤウナモノハ、是ハ必要條件トシテ先ヅ備ヘロト云フコトヲ私ノ方デハ指導シテ居ルノデアリマス、ソレデゴザイマスカラ、只今寢具ヲ持ツテ來イト云フヤウナコトガアツタト云フ御話デアリマシタガ、或ハ最近此ノ仕事ガマダ新シイ爲ニ、或ハ急速ニ致シテ居ル爲ニ、多少サウ云フコトガアツタカモ知レマセヌガ、此ノ點ハ私共ノ方ノ指導トハ全然違フノデアリマス、至急調査ヲ致シマシテ、適當ナ處置ヲ講ジタイト思ツテ居リマス、ソレカラ給與ノ點デゴザイマスガ、大體未経験ノ所謂少年工デアリマシテモ、兎ニ角自分一個ガ食ツテ行クニ差支ヘナイ、場合ニ依リマシテ少シ本人ガ節約ヲ致セバ多少家ヘ送レルト云フヤウナ額ヲ標準ト致シテ居ルノデアリマス、大體私共ノ方ノ調査ニ依リマスルト、是ハ或ル官廳ノ作業場ノ例デアリマスルガ、十八歳ノ全ク未経験ノ勞務ヲソレニ對シテ夜勤手當トカ色々附キマシテ三圓六十六錢、合計四十二圓五十八錢、之ニ對シマシテ支出ガ食物ニ十八圓二十錢位、是ハ工場デ經營スル食堂デ割合安ク支給シテ居ルノデアリマス、ソレカラ本人ノオ小遣ヒ其ノ他ガ十一圓八十六錢、合計三十圓六十六錢、ソレデ十二圓五十二錢ト云フ餘額、是ハ本人ガ貯蓄スルナリ或ハ家ヘ送レル、是ハ實情調査ノ一ツノ例デアリマス

ガ、大體ニ於テ斯ウ云フヤウナコトガ多イノデアリマス、ソレデモ只今本人ガ父兄ニ對シテ十圓トカ二十圓トカ送ツテ呉レト云フヤウナ例モナイコトハナイ、チヨイアリマシテ、ソレニ付テハコチラトシテハ常ニ實情ノ調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、中ニハ又コチラトシテ改メナケレバナラヌ場合モアリマスルシ、時ニハ本人ガ少シ使ヒ過ギマシテ、ソナコトヲ言ツテ居ル場合モアルノデアリマス、是ハ其ノ時々ニ調査ヲ致シテ然ルベク父兄ノ方ニモ話シタリ、本人ヲ指導シタリスルヤウニ常ニ致シテ居リマス、御話ノヤウナ件ニ付キマシテモ、早速調査致シマシテ、適當ナ處置ヲ講ジ、又本人家族ニ安心モ與ヘ、又身ヲ誤マラナイヤウニ致シタイト存ズルノデアリマス、大體ソナナ譯デアリマシテ、是ハ工場等ニ於キマシテハ、色々ナヤリ方ガアリマシテ、或ハ賣店ノヤウナモノヲ拵ヘテ、極メテ安クヤツテ居ル所モアリマス、ソレカラ所謂三度ノ食糧デアリマスケレドモ、是ハ直營ノ食堂ヲ持ツテヤツテ居ル所モアリマスルシ、又何處カ請負ハシテ居ルヤウナ所モアルノデアリマシテ、ドチラニ致シマシテモ、相當安イ値段デ給與致シテ居リマス、唯工場、特ニ鑛山等ニ於テ起ル問題デアリマスガ、大體ノ配給ガ足りナイト云フ問題モ御承知ノヤウニアルト思ヒマス、之ニ付キマシテハ常ニ陳情ヲ受ケテ居リマシテ、農林省ト能ク相談ヲシテ出來ルダケ好イ解決ヲシタイト考ヘテ居リマス、尙ホ斯ウ云フヤウナ問題ニ付キマシテ御氣付キノ點ガアリマシタナラバ、御遠慮ナク仰セアリマスカラ、圓滿ナル運行ヲ期スル爲ニ

ハ、各方面ノ御意見モ伺ツテシナケレバナ
ラスト思ヒマス

○羽田委員 只今御丁寧ナ御答辯ヲ戴キマ
シタガ、只今私ノ申上ゲマシタヤウナ實情
デアリマスノデ、大體村ニ於キマシテモ上
流ト云フカ、村ニ於テモ相當發言ノ出來ル
ヤウナ家庭デハ、サウ云ツタ工合ニウルサ
イモノデスカラ、職業指導所ノ方カラ言ツ
テ參ツテモ、出來ルダケ徵用ヲ受ケナイヤ
ウナ途ヲ講ズルヤウデアリマス、職業指導
所ト致シマシテモ、ヤハリ村會議員トカ其
ノ他村長トカ云フウルサイ人ノ子弟ヲ採ル
ト後ガウルサクテイカスト云フヤウナコト
デ、寧ロモノヲ言ヘナイヤウナ下級ノ方面
ノ人達カラ此ノ徵用工員ヲ徵用スルト云フ
ヤウナ、サウシテ非難ヲ出來ルダケシナイ
方ノ方面カラサウ云フモノヲ徵用スルト云
フヤウナ易キニ就ク風ガアリマス、是ハ職
業指導所トシテハヤリ方ガ間違ツテ居ルト
私共ハ存ズルノデアリマスガ、而モサウ云
フ父兄ガ子供カラセガマレタ場合ニ、割合
力ノナイ人達ガサウ云ツタ資金モシナケレ
バナラスト云フヤウナコトモ現ニ行ハレテ
居ル譯デアリマシテ、ソレニ付キマシテモ
國民職業指導所ハ、全國ニ於テモマダ急ニ
國立ニナツタヤウナ關係モアリマシテ、職
員等モ教養其ノ他ニ付テ缺ケテ居ル點ガア
ルノデハナイカ、其ノ點ハ餘程嚴格ナル御
指導ト、ソレカラ苟モ人ヲ預ルコトゴザ
イマスカラ、餘程其ノ點ハ公正ニ、苟モ指
彈ヲ受ケルコトノナイヤウニ御指導願ヒタ
イト思フノデアリマスガ、此ノ點ヲ一寸申
上ゲテ置キタイト思ヒマス

○柴安委員長 羽田君ニ申上ゲマス、厚生
大臣ハ豫算委員會ニオイデニナル都合ガア

リマスカラドウカ厚生大臣ニ對スル御質問
ヲ……

○羽田委員 ソレデハ今ノ點ハ特ニ厚生省
ノ方デ御注意ヲ願ヒマシテ、厚生大臣ニ御
質問ヲ致シマス、ヤハリ國民體力ニ關聯ヲ
致シ、又健康保險ニモ關聯ヲ致ス、殊ニ其
ノ基礎的デアアル人口増殖問題ニ付テ厚生大
臣ニ御話ヲ承リタイ、日本民族ガ此ノ世紀
ノ運命ヲ賭ケタ曠古ノ大業ヲ今着々ト致シ
テ居ル譯デアリマス、ソレニハ何ト云ツテ
モ日本民族ノ人口ト云フモノガ、實ニ於キ
マシテモ數ニ於キマシテモ、ドウシテモ飛
躍的ナ發展ヲ致サナケレバナラスノデ、其
ノコトヲ國民ガ十分ナ自覺ヲ持ツテ進ンデ
行クト云フコトガ、一番刻下ノ急務タト存
ズルノデアリマス、殊ニ日本ノ周圍ニ
ハ「スラブ」民族ニ致シマシテモ一億數千
万ノ人口ヲ持チ、而モ最近ハ「スラブ」民
族ハ國家意識、民族意識ト云フモノガ中々
強クナリ、又其ノ人口ノ増殖率ノ如キ
ハ「ドイツ」ノ二倍モアル、サウ云フ國ヲ
北ニ控ヘテ、日本ハ南ニ伸ビナケレバナラ
スト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、更ニ
又支那ノ民族ニシテモ非常ニ大キイト云フ
ヤウナ日本ト致シマシテハ、現在ノ内地人
口七千万ハ、最モ其ノ増殖ヲ速カニスル必
要ガアル、勿論政府モ昨年人口政策ノ要綱
ヲ御立デニナリマシタカラ、其ノ點ニ付テ
ハ既ニ始マツテ居ル仕事デアリマスケレ
ドモ、未ダ國民ノ人口増殖ト云フモノニ對
スル國民トシテノ協力ノ立場ガ十分ノヤ
ウデアリマス、此ノ點ハ一ツ國民ノ指導ニ
當ル厚生省ト致シマシテハ餘程力ヲ入レテ
戴キタイ、斯ウ云フ意味デ私ハ人口問題ニ
付テ少シク質問ヲ申上ゲタイト思フノデア

リマス、厚生大臣御忙シイヤウデアリマス
カラ、私が一番終リニ質問ヲ致シタイト存ジ
マシタ點ヲ先ヅ厚生大臣ニ質問ラシテ、外
ノ點ハ厚生大臣デナクテモ宜シウゴザイマ
ス、私ハ此ノ人口増殖ノ根本ノ第一ノ出發
點ト致シマシテハ、新シキ結婚觀ト云フモ
ノヲ確立シ、之ヲ國民ノ間ニ普及徹底サセ
ル必要ガアルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ
居リマス、從來ノ結婚觀ニ於キマシテハ、
男ノ方トシテハ、昔カラ女房ト疊トハ新シ
イ方ガ宜イト云フ工合デ、ドチラカト言ヘ
バ、享樂氣分デ若イ嫁ヲ貰ツテ玩具ニスル、
人形ノヤウニ見テ行クト云フヤウナ傾向ガ
アルノデハナイカ、殊ニ古イ日本ノ考ヘ方
ト云フモノハ、夫ハ妻ヲ奴隸ト言ヒマスカ、
全ク奴隸視スルヤウナ傾向ガアルカ、サモ
ナカツタナラバ、今デハサウ云フ考ヘ方モ
殆ド減ツテ參ツテ居リマスガ、例ノ戀愛至上
主義ト云フヤウナ立場カラ、サウ云フ思想
ガ跋扈シ、又自由結婚或ハ更ニ廣ク國際結
婚、或ハ結婚ノ形式モ試驗結婚制度ナド色
色ノコトガ最近マデ行ハレテ居ツタヤウナ
實情デアリマス、サウシテ一般ニ性ノ享樂
ト云フヤウナコト、或ハ遊娯ヲスルト云フ
ヤウナコトデ以テ、男女ノ關係ガ成立ヲ致
シテ居ルヤウナ實情ニアツタノデアリマス、
又今マデ知識階級ノ人達モ、ヤハリ「イン
テ」ト云フモノハ、サウ云フ個人的ナ享
樂ト云フヤウナコトガ新シイノダト云フ考
ヘ方カラシテ、上層ノ指導階級ニナレバナ
ル程、サウ云フ點ニ付テ割合ニ「ルース」ナ
考ヘ方ヲ持ツテ居ツタヤウニ考ヘルノデア
リマス、斯クノ如ク頽廢氣分ヲ以テ男女間
ノ性生活ガ營マレルコトニナリマスレバ、
當然其ノ歸結ト致シマシテ、家族制度ヲ破

壞ヲ致シ、又人口ハ減少シ、民族國家ノ衰
亡ト云フコトハソレニ續イテ來ルベキモノ
デアルト思フ、隨テ此ノ大東亞ノ指導者
トシテ、永久ニ東亞ニ於ケル安定勢力トナツ
テ行クノニハ、ドウシテモ人口増殖ト云フ
コトニ主力ヲ注ガナケレバナラスシ、其ノ
爲ニハ只今申シマスヤウナ結婚觀ノ舊體制
ヲ是正シテ、是非新シイ結婚觀ヲ樹立スル
必要ガアルト思フノデアリマス、即チ結婚
ハ決シテ個人ノ私事デハナイ、民族興隆ノ
基礎デアアル、兩親ヤ周圍ノ指導ノ下ニ、若
キ二人ガ互ヒニ助け合ツテ堅實ナ家ヲ建設
シ、サウシテ世界無比ノ團體ニ淵源スル立
派ナ日本民族ノ血液ヲ永遠ニ生々發展セシ
ムルト云フヤウナ使命ヲ感ジナガラ澤山ノ
子供ヲ産ミ、丈夫ニ育テ、教育シテ、國家ノ
御奉公ニ役立タシムルト云フ信念ヲ確立ス
ル、サウ云フ氣風ヲ作ツテ行カナケレバ今
日ノ大東亞戰爭ノ後ニ來ルベキ大東亞ノ經
營ニ當ツテノ日本民族ノ發展ト云フモノガ
アリ得ナイト思フ、隨テ性慾ト云フヤウナ
モノヲ國家ニ捧ゲル、結婚ハ個人ノ私事デ
ハナクシテ、國家興隆ノ基礎デアルト云フ
結婚觀ヲ確立致シマシテ、性生活ノ嚴正化
ヲ強調スル所ノ社會環境ヲ速カニ確立スル
コトガ必要デアアル、如何ニ體力管理ヤツ
テ見テモ、或ハ健康保險ノコトヲヤツテ見
テモ此ノ社會環境ヲ作ラナカツタナラバ、
ヤハリ本當ノ畫龍點睛ト云フコトニハナラ
スト思フ、之ニ付テ新シキ伸ビルベキ日本
民族ノ結婚觀ト云フモノヲ、速カニ再確立
ヲ致シテ行ク必要ガアルト思フノデアリマ
スガ、之ニ付テ大臣ノ御所感ヲ承リタイト
思フ

○小泉國務大臣 只今大東亞戰爭ノ緒ニ着

キマシタ今日、人口涵養ノ必要ナコト、又
之ニ伴ヒマシテ國民全般ニ對スル其ノ啓蒙
ハ新シキ結婚觀ノ樹立ト云フコトニ力ヲ注
グノ要アルト云フ御意見ヲ拜聴致シマシタ
ガ、全然此ノ點御同感デアリマス、政府ト
致シマシテモ御説ノヤウナ觀點カラシマシ
テ、大東亞共榮圈確保ノ中核タル、指導者
タル大日本國民ト云フモノノ其ノ質及ビ量
ニ於テ、此ノ事態ニ即應スル上ニ遺憾ナカ
ラシムルト云フコトノ爲ニ、各方面廣ク綜
合的ニ人口政策ヲ勘案致シマシテ、其ノ結
果ニ基キマシテ、例ヘバ今御指摘ニナリマ
シタヤウナ風ニ、生活ノ安定ト云フヤウナ
方面ニモ十分ニ施設シテ、例ヘバ今回ノ稅制
ノ改正等ニ於キマシテモ、人口政策ヲ多分
ニ加味シ、其ノ他色々生活安定ニ資シマ
ス各方面ノモノヲ綜合的ニ勘案シマシテ、
重點的ニ國內ハ勿論、南方ニ進出シ、或ハ
北方ノ護リヲ堅クスルニ於テモ其ノ國民ノ
生活環境ヲ是正スル、不合理ノモノハ之ヲ
合理化シテ行クト云フ上ニ、十分ニ力ヲ盡
シテ参リタイト存ジテ居ル次第デアリマシ
テ、今後一層此ノ點ノ具現化、擴充整備ト
云フコトニ付テ力ヲ盡シテ行キタイト存ジ
テ居リマス

○羽田委員 大臣ノ御答辯デ満足デアリマ
スガ、兎角斯ウ云フ問題ハ思想のナ問題デ
モアリマスノデ、一ツ厚生省ト致シマシテ
ハ積極的ニ此ノ國民ノ啓蒙運動ヲナシ、此
ノ民族ノ永遠ノ發展ト云フコトハ、日本民
族ノ最高ノ至上命令デアルト云フコトニ關
聯ヲ致シテ、徹底的ニ國民運動、啓蒙運動
ヲ起シヤウニ御留意ヲ願ヒタイト思ヒマス、
尙又家ト云フ觀念モ確立致シマシテ、此ノ
家ト民族ト云フ關係ヲシツカリト築キ上ゲ

ルヤウナ思想體系ヲ御作りニナラレンコト
ヲ希望致シマス、大臣若シ御差支ヘゴザイ
マスナラバ、是デ宜シウゴザイマス續イテ
同様ノ人口増殖ノ具體的ナ問題ニ付キマシ
テ、數點ニ互ツテ政府委員ノ御答辯ヲ得タ
イト思ヒマス、政府ハ人口問題ニ對スル施
設ト致シマシテ、此ノ間官吏ノ家族手當ノ
引上ヲ擴張セラレマシタシ、又今議會ニハ
只今モ大臣ガ言ハレルヤウニ、稅ノ法案ニ
於テ家族扶助ノ控除ニ付テ考慮ヲ拂ツテア
リマス、ソコデ私ハ今家族手當ノ問題ニ付
テ御質問致シタイノデアリマス、手當ト云
フ以上ハ何ダカ臨時的ナ性質ヲ負ビテ居ル
ヤウナ氣ガ致スノデアリマスガ、家族手當
ノ如キハ寧ろ恒久的ナ施設トシテ、眞ニ人
口ヲ増殖スルト云フ見地カラ制度的ニ確立
ヲ致シテ、給與體系ノ中ニ入レテ行ク必要
ガアルト思フノデアリマスガ、給與體系ニ
入レテ行カレル、臨時のデナク恒久的ナ施
設トスル意思ガアリマスカドウカ、ソレヲ
先ツ伺ヒマス

○武井(群)政府委員 大臣ガ豫算總會ノ方
ニ出ラレマシタノデ、不十分デアリマスガ、
一應ノ御答ヘヲ致サウト思ヒマス、只今人
口政策ノ見地ヨリ致シマシテ、家族手當ノ
制度ヲ恒久的ニ給與體系ノ中ニ入レル必要
ガナイカト云フ御所見ニ付キマシテハ、御
趣旨ヲ拜承致シタノデアリマス、此ノ問題
ハ政府全般ノ問題デアリマスノデ、今私ノ
口ヨリ全般ノコトハ申上ガ兼ネルノデアリ
マスガ、今回ノ政府ノ決メ方ニ於キマシテ
ハ、官吏ニ對スル家族手當ノ範圍ヲ擴張致
シタ譯デアリマス、之ヲ決定スルニ付キマ
シテハ、各方面ヨリ議論サレタヤウデアリ
マスガ、結論トシテ、今日マデ家族手當ヲ

支給シテ居リマスノデ、ソレノ限度ヲ引上
ゲ乃至ハ範圍ヲ擴張スルト云フコトデ、今
回ノ決定ニナツタモノト承ツテ居リマス、
併シ此ノコトハ自然會社、工場等ノ勞務者
或ハ一般國民等ニモ及ブコトデアリマス、
就中官吏以外ノ公吏、會社員、勞務者等
ニ對スル給與ノ問題ニモ及ブコトデアリマ
スノデ、只今ノ所厚生省ト致シマシテハ、
官吏ニ對スル家族手當ト相並シデ、是等勞
務者ニ對スル家族手當等ノ支給ニ付テ考慮
ヲ致シテ居ル譯デアリマスガ、根本ノ家族
手當ト云フ問題ガ又一面ニハ往年ノ減俸ノ
復活ト云フヤウナコト、即チ給與ノ問題ニ
何レ關スルコトト思ツテ居リマス、其ノ際
ニ於キマシテ、政府ノ方針ニ從ツテ厚生省
所管ノ勞務者ニ對スル給與ノ問題モ十分考
ヘタ上デ處置シナケレバナラスモノト考ヘ
テ居リマス

○羽田委員 暮ニ出マシタ給與ノ問題ニ付
テモ、會社、工場ノ方ハ大體官吏ニ準ジロ
ト云フヤウナ備考ガ附イテ居ツタヤウデア
リマスルガ、是ハ準ジロト云フ程度デスカ、
ヤレト云フ意味デゴザイマスガ、此ノ點ヲ
モツトハツキリト願ヒタイノデアリマス、
今研究サレテハ居ラレルヤウデアリマスガ、
併シアノ解釋ヲ何處マデ強ク考ヘナケレバ
ナラスカ、ソレヲ御聴キ致シタイノデアリ
マス

○武井(群)政府委員 此ノ點ニ付キマシテハ、
政府ニ於テ官吏ニ是ダケノモノヲ支給スル
ガ故ニ、會社、工場等ニ對シテモ是ト同ジ
ヤウニ給與スベシト云フ命令ハ出シ得ナイ
ト思ツテ居リマスガ、自然事業主等ニ於キ
マシテ之ニ準ジテノ措置ヲ講ズルコトト思
ヒマス、又一面各會社、工場等ニ依リマシ

テハ、金錢的ノ給與ニアラズシテ、其ノ他
ノ福利施設ニ於テ家族手當ノ實ヲ舉ゲテ居
ル向キモアルコトデアリマスノデ、一概ニ命
令ハ出シ兼ネルト思ヒマス、併シナガラ今
回政府デ家族手當ヲ官吏ニ支給スルニ付キ
マシテハ、自然會社、工場等ニ勤務シテ居
ル者ニ對スル手當ノ問題ガ起キルコトデア
リマス、厚生省所管ニ於キマシテハ、賃金
統制令ノ改正ト云フヤウナコトニ付キマシ
テハ、之ヲ適當ニ措置スルコトニナツテ居
リマス、又同時ニソレガ會社經理等ニモ關
係スルコトデアリマスノデ、大藏省所管ニ
於キマシテハ、會社經理統制令ノ改正ト云
フヤウナコトニ付キマシテモ、此ノ方針ニ
準ジテ措置スルコトニナツテ居リマス

○羽田委員 唯其ノ場合ニ一寸注意ヲ致サ
ナケレバナラスコトハ、夫婦者ヲ雇フト云
フト、結局子供ニナル家族扶助ト云フヤウ
ナコトガ段々ト負擔ガ増大スルト云フヤウ
ナコトデ、夫婦者ハ出來ルダケ嫌フ、獨リ
者ヲ出來ルダケ採リタイト云フヤウナ會社
ノ風ガ自然ニ起ツテ來ルト思フノデアリマ
スガ、サウ云フコトニ付テハ人口増殖ノ爲
ニ扶助ヲヤツテ、而モ其ノ爲ニ却テ其ノ人
達ハ不幸ナ目ニ遭フト云フヤウナ、逆效果
ヲ來スヤウナコトモアルト思フノデスカ、
サウ云フ點ニ付テハ十分ニ政府ハ周到ナル
注意ヲ以テ所期ノ目的ヲ達成スルヤウニ願
ヒタイト思フノデスカ、ソレカラサウ云フヤ
ウナ場合ニ、寧ろ工場、鑛山等ニ於テ夫婦
者ヲ出來ルダケ雇ツテ、氣分ヲ落着カセテ
就業サセル、其ノ代リ子供達ノ爲ニハ託兒
所ト云フヤウナモノヲ設備スルト云フヤウ
ナコトガ必要デヤナイカト思フノデゴザイ
マスルガ、一寸御考ヘヲ御聴キ致シタイト思

ヒマス

○武井(群)政府委員 御説洵ニ御尤モデア
リマス、從來勞務者ヲ得ルコトニ左程ノ困
難ヲ感ジナカッタ時代ニ於キマシテハ、御
話ノヤウナコトモ絶無デハナカッタヤウデ
アリマスガ、最近人ヲ得ルコトガ困難トナ
リ、一タビ之ヲ解雇シマス、後ニ新規ニ
採用スルコトガ非常ニ困難ダト云フヤウナ
コトガアリ、又一面熟練工ヲ要スルコト云フ
ヤウナコトモアリマスノデ、全般的ニ見テ
夫婦者ヲ嫌フト云フヤウナ傾向ハ漸次薄ク
ナツテ來テ居ルヤウニ見受ケラレルノデア
リマス、併シナガラ御注意ノ點ニ付キマシ
テハ十分善處シナケレバナラヌコトと思ツ
テ居リマス、一面人口政策ノ見地ヨリ若イ
者ニ早ク結婚ヲサセル必要ガアル、殊ニ又
相當ノ收入ヲ得ナガラ獨身デアリマス爲ニ、
先刻御話ノアリマシタヤウナ風教乃至ハ健
康上ニモ忌ハシキコトガ絶無デモナイ譯デ
アリマスノデ、人口政策ノ見地ヨリ同職
者ノ結婚獎勵ト云フコトヲ、當局ト致シマ
シテハ出來ル限リヤリタイト思ツテ居リマ
ス、從來百貨店等ニ於キマシテハ、兎角之
ヲ嫌ツテ居ツタ傾向ガアルヤニ聞イテ居リ
マスガ、最近ニ於キマシテハ、是等ノ方面ニ
於キマシテモ出來ル限リ同職者ノ結婚ヲ勸
メルト云フヤウナ風ニ首腦部ノ傾向ガ變ツ
テ來ツツアリマスノデ、人口局ノ外郭團體
ト致シマシテ、結婚報國聯盟ト云フヤウナ
モノモ最近ニ拵ヘマシテ、此ノ方面ニモ出
來ル限リノ獎勵方法ヲ講ジタイ積リデ居リ
マス

見地カラ言ヒマス、此ノ家族手當ト云
フヤウナモノガ、ドウシテモ考慮セ
ラレテ來ナケレバナラヌと思フノデス、
併シ家族手當ト申シマシテモ、サウ云フコ
トニナリマス、給與關係デナイノデアリ
マスカラ、相當實行上ニハ困難ガアルト
思フノデアリマス、セメテ産兒獎勵金
ト云フヤウナモノデモ與ヘテ、官吏ヤ何カ
ト違フ一般國民ニモ、ヤハリ大體官吏ヤ會
社ト同ジヤウナ位ノ金額ヲ産兒獎勵金トシ
テ與ヘルヤウナ途ヲ御考ヘ願ヘマセヌデセ
ウカ

○武井(群)政府委員 御尤モノ考案ト存ジ
マス、私ノ方モ平素左様ナコトモ色々ト研
究ヲ致シ、豫算ナドニモ考慮シタコトモア
ルノデアリマスガ、マダ實現ノ運ビニ至
ツテ居ラスコトヲ遺憾ニ存ジテ居リマス、
唯團體デアリマスルガ、優生聯盟ナドニ於
キマシテハ、優生結婚ニ對シマシテハ若干
ノ費用ヲ融通スルコト云フヤウナ途モ開ケマ
シテ、細々ナガラ始メテモ居ルコトデアリ
マス、ソレカラ結婚ニ入ツテ生レタル多子
家庭ノ育英資金等ニ付キマシテ、政府ヨリ
若干ノ資金ヲ貸與スルコト云フ途モ開ケテ居
ル譯デアリマス、行ク／＼ハ人口政策確立
要綱ニ掲ゲテアリマスル通り、家族ノ基金
制度ト申シマスガ、一方ヨリ獨身者其ノ他
子ナキ者ニ對シテ稅ヲ課徴シタ等ヨリ得タ
ル收入ヲ以テ、一方ニ多子家庭ニ對シテ之
ヲ厚ク給與スルコト云フヤウナコトノ調整金
ノ制度等モ速カニ具現化シナケレバナラヌ
ト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス

ヲ設ケテ、先ヅ結婚ニ當ツテ或ル程度ノ金
ヲ貸シテヤツテ、子供ガ一人生レルト、ソ
レダケ割引シテ、返サナクテモ宜イト云フ
ヤウナ制度ガ行ハレテ居ルヤウデ、是ガ非
常ニ「ドイツ」ノ最近ノ人口増加ノ大キナ原
因ヲ成シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ風
ナコトモヤハリ御考ヘ願ヒタイト思ヒマス
ルガ、政府ノ御考ヘヲ御聽キシテ置キタイ
ト思ヒマス

○武井(群)政府委員 「ドイツ」ノ最近採ツ
テ居リマスル今御話ノ政策ハ「ドイツ」ニ於キ
マシテハ非常ニ效果ノアルコトノヤウデアリ
マス、隨ヒマシテ當局ニ於キマシテモ是等
ノコトモ考ヘテ、先程申上ゲタヤウナ案モ
立テタコトデアアルノデアリマスルガ、未ダ
實現スル程度ニ參ツテ居ラナイ譯デアリマ
ス、唯問題ハ先程最初ニ厚生大臣ニ對シテ
御話ノアリマシタ中ニ含蓄ノアル御言葉ガ
アツタノデアリマスガ、結婚ト云フ、乃至
ハ人口政策ト云フノハ經濟的ノ問題デモ
アリマスガ、根本ハ精神のナ問題、教育問
題、道德問題デアルト云フ御話、此ノ點洵
ニ尤モノコトデアリマシテ、私共ト致シマ
シテハ此ノ中心ヲ外シテ人口政策ヲ考ヘル
コトハ、却テ結果ニ於テ所期ノ目的ヲ達成
シ難イ場合ガアルカト思ツテ居リマス、其
ノ實例トシテ「フランス」ノ如キハ、最近非常
ニ此ノ人口政策ニ對シテ國費ヲ使ツタ國ノ
一ツデアリマスルガ、併シナガラ國民ノ國家
ニ對スル考ヘガ違ツテ居リマスル爲ニ、折
角ノ國費ト云フモノガ何等人口政策ノ上ニ
ハ現ハレズシテ、却テ若イ人ノ享樂ノ方ニ
向ケラレタト云フヤウナコトモアル譯デア
リマスルノデ、人口政策ノ根本ハ何處デモ
國體觀念、仰セニナリマシタ家ノ觀念——家

族ト家、國體ト云フ此ノ觀念ニ基ク國民的、
國家的、道德的、精神問題ト云フコトヲ外
シテハ相成ラヌト私共考ヘテ、色々ナ計畫
ヲ致シテ居ル譯デアリマス

○羽田委員 其ノ點ハ全ク同感デアリマシ
テ、昔カラ金持ダカラト云ツテ子供ガ出來
ル譯デハナクシテ、寧ロ律義者ノ子澤山ト云
フ言葉モアル位デ、眞面目ナ律義ナ人ノ方
ガ子供ガ出來ルコトデアルト思フノデアリ
マス、其ノ點ハ全ク同感デアリマスルガ、
結論ヲ先ニ質問致シマシタカラ、若干物質的
ナ方面ノコトヲ尙ホ御聽キ致シタイノデア
リアス、此ノ社會的ナ一ツノ優遇方法トシ
テ、詰リ子供ヲ持つテ居ル者ハ大威張デ世
ノ中ニ潤歩ガ出來ルト云フヤウナ社會狀況
ヲ作り上ゲルコトガ必要デハナイカ、ダカ
ラマア三人以上ノ子供ヲ持つテ居ル者ニハ
「マーク」デモ付ケテ置イテ、例ヘバ最近ハ
必ズシモ政府ノ考ヘテ居ル所デアリマセ
スガ、例ノ物ヲ買フノニ並ンデ居ル、立ン
坊ヲシテ居ル、妊婦ガ寒空ニ立ツテ流産ヲ
スルト云フ氣ノ毒ナ行列ノ悲惨事モ起ツテ
參ル譯デアリマスガ、サウ云フ「マーク」ヲ
付ケテ居ル者ハ大威張デ一番先ニ特ニ皆ノ
眼ニ着クヤウニシテ置イテ、サウ云フ行列
ニ列シナクテモ物資ガドン／＼先ニ手ニ入
ツテ行クト云フヤウナコトヲ致シマシテ、子
寶ヲ持つテ居ル者ハ民族發展ノ子寶デア
ル、斯ウ云フ意味デ社會的ニサウ云フ家族ヲ優
遇スルコトガ必要デヤナイカト思フノデア
リアスガ、サウ云ツタ社會施設ニ付テ何カ
御考ヘガアリマシタラ御聽キシタイト思ヒ
マス

○武井(群)政府委員 御尤モナ考案ト存ジ
マス、私モ——私事ヲ申上ゲテ恐入リマスガ、

第六類第九號 國民體力法中改正法律案外四件委員會議錄 第三回 昭和十七年一月二十七日

二七

地方長官ヲ致シテ居リマシタ時ニ、厚生大臣ノ多子家庭ノ表彰狀ノ傳達式ヲ致シマシテ、其ノ後ニ於キマシテ是等ノ人ノ色々ナ經驗談ノ座談會ヲ開イタコトモアルノデアリアスガ、最初ノ時ニ於ケルソレ等ノ人ノ感想ハ、餘リ俺達ノコトヲ新聞ニ書イテ呉レルナ、恥カシクテ仕方ガナイト云フヤウナ傾向ガアツタコトハ事實デゴザイマス、併シ翌年ニナリマスルト斯様ナコトモナクナツテ參ツタト云フ狀況デアリマスノデ、漸次政府ノ方針、國家ノ要請スル所ハ、一般國民ニ傳ヘラレルノデハナカラウカト思ツテ居リマス、多子家庭ノ優遇等ニ付キマシテ、今御指摘ニナリマシタ一列行列ニ特典ヲ與ヘルコトハドウカ、此ノ點ニ付キマシテハ一列行列其ノモノヲナクサナケレバナラスト考ヘマス、別途ノ方法ヲ考ヘナケレバナラスト思ヒマスガ、今此處何カ具體案ガナイカト仰セニナレバ、差詰是ハト申上ゲルコトヲ茲ニ披瀝スル譯ニ參ラヌコトヲ甚ダ遺憾ニ思ヒマスガ、能ク御趣旨ヲ伺ヒマシテ研究シテ見タイト思ヒマス、同時ニ又國民一般ガ此ノ多子家庭ニ對シテ尊敬ノ念ヲ拂フヤウニ仕向ケルコトモ大切カト存ジテ居リマス

○羽田委員 アトハ文部當局ノ中野局長ニ御尋ネヲ致シタイト思ヒマス、教育費ノ負擔輕減ノ問題デアリマスガ、何ト云ツテモ子澤山ノ者ハ教育費ニ掛ルト云フコトガ親トシテ一番氣ニ懸カル點デアリマス、ソレデドウシテモ子供餘計デハ困ルト云フコトデ、一ツノ制限ヲスルコトニナツテ居ルヤウデアリマスガ、出來ルダケ親掛リノ子供ノ在學年限ヲ短縮致シテ、大體二十歳位デ先ヅ大學ト云ヒマスカ、兎ニ角最高ノ學

校ヲ卒業シテ、サウシテ社會ノ實際ノ活動ニ赴クト云フヤウナ風ニ、學制ノ根本改革ヲスル必要ガアルヤウニ存ズルノデアリマスガ、其ノ點ニ付キ先ヅ第一ニ文部當局ノ御意見ヲ承ツテ置キタイト思フノデアリマ

○中野(善)政府委員 只今ノ御質問ノ點ハ、問題ガ非常ニ全般的ノ問題ニナリマスノデ、私一存デ御答ヘ致シマスノハ如何カト考ヘマスガ、唯私ノ承知致シテ居リマスル範圍ニ於テ誤リガナイト考ヘマスル點ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、隨テ餘リ具體的ナコトニナリマセヌノデ御不滿カト思ヒマスルガ、其ノ點ハ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、學制ノ根本的改革ノ必要デアルコトハ今日文部省デモ認メテ居ルノデゴザイマス、又出來ルダケ在學年限ノ短クテ済ムコトガ望マシイト云フコトモ考ヘテ居ルノデゴザイマス、唯申上ゲルマデモナイコトデゴザイマスルガ、此ノ大東亞共榮圈ノ確立ト云フ大キナ建設ノ事業ヲ完遂致シマス爲ニ、益々教育ガ大切デアル、國民ノ資質ヲ向上セシメ、教養ヲ高メル必要ガアル、ソレデ吾々日本人ハ悉ク此ノ大東亞共榮圈内ニ於ケル指導者ニナラナケレバナラナイト云フ建前ヲ執ラナケレバナラナイト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ無論ソレニ即應スベク學制ノ根本的改革ノ必要デアルコトハ申スマデモナイコトデアリマスシ、且又只今モ御指摘ニナリマシタヤウニ人口政策上カラ申シマシテモ、又成ベク若い元氣ナ青年ガ早く國家ノ爲ニ活躍スルコト云フ機會ヲ與ヘル點カラ考ヘマシテモ、在學年限ノ短イコトガ望マシイトハ考ヘテ居リマスガ、同時ニ教養モ益々高メナケレバナラナイ、此

ノ二ツノ問題ヲ如何ニ解決スルカト云フ點ニ具體的ナ對策ヲシテハ相當苦心ガ要ルノデハナイカト考ヘテ居リマス

(委員長退席、西尾委員長代理着席)

○羽田委員 御尤モデゴザイマス、ソレデスカラ私共カラ考ヘレバ、二十歳位デ以テ學校ヲ終ツテ、社會ニ出タ上ニ尙ホ指導者トシテ高次ノ科學的ナ知識或ハ高キ指導者トシテノ教養、斯ウ云フ方面ノ教養ヲサセル爲ニ、社會ニ出テ優秀ナ者ニハ尙ホ國家ノ費用デ更ニ高次ナ教育ヲ授ケルト云フ風ナ工夫ヲ致シテ行ツタナラバドウカ、又國防國家ト致シマシテハ、學校ト軍隊ヲ「リンク」サセルト云フヤウナ考慮モ拂ツテ、眞ニ國家有用ノ若者ヲドシト育成シテ行クト云フコトヲ考ヘラレテハドウカト私共ハ考ヘテ居ル譯デアリマス、之ニ付テハ御答辯ハ要リマセヌ

最後ニモウ一ツ文部當局ニ御尋ネ致シタイコトハ、女學校教育ノ建直シヲ御考ヘ願ヒタイト云フコトデアリマス、今マデノ高等女學校ト云フモノハ要スルニオ嬢サン教育デアツテ、眞ニ國家ノ爲ニ或ハ人口増殖ノ爲ニト云フヤウナ知識ノコトハ殆ドナクテ、全ク悠々タル何ト云フカ國家社會ト關係ノナイヤウナオ嬢サン教育デアアル、最近ハ大分修正サレテ來テ居リマスガ、大分サウ云フ弊ガアルト思フノデアリマス、ドウシテモ是カラ若キ女子ト云フモノハ家庭ノ主婦ニ適スルヤウニ——産業戰士トシテモ同時ニ考慮サレルデアリマセウガ、主トシシ家庭ノ主婦ニ適スルヤウナ教育ニ重點ヲ置クコトガ最モ必要デハナイカト思フノデアリマス、乳幼児ノ死亡ノ原因ヲ御配リ戴キマシタ書類ニ依ツテ見マシテモ、主トシ

テ風邪ヲ引クトカ、或ハ腹下シト云フヤウナコトガ乳幼児ノ死亡ノモウ百「パーセン」ト云ツテモ宜イ位ノ原因ヲ成シテ居ルヤウデアリマス、隨テ女學校ニ於テ育兒ノ科學的ノ知識ヲ徹底サセテ、此ノ乳幼児時代ニ斯ウ云ツタ風邪引キトカ腹下シノヤウナモノハ、一寸注意ヲ致シマスレバ死亡率ハ、愛育會ナドノ例ニ依ツテモ分ルヤウニ、直チニ半分位ニ減ツテ參ルノデアリマス、サウスルト二十年經テバソレガ聽テ國家ノ壯丁トナツテ第一線ニ行ケル譯デアリマスカラ、隨テ家庭ノ主婦ノ教養トシマシテハ、育兒保健科ト云フヤウナモノヲ設置致シテ、徹底シタル女トシテノ教育、家庭ノ主婦トシテノ教育ヲ施ス必要ガアリハシナイカト云フ風ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、島根縣デハ女學校ニ保健ノ科ヲ置キマシテ育兒ノ知識ヲ授ケ、村ニ歸ツテ農民ノ人達ノ保健育兒ノ指導ニ當ラセテ、非常ナ好成绩ヲ擧ゲテ居ルヤウナ例モアルヤウデアリマス、隨テ一ツノ考察ト致シマシテハ、農繁期ノ勤勞奉仕ニ學校トシテ託兒所ヲ開設致シ、サウシテ指導者ガ女學生ニ手ヲ取ツテ子供ノ扱ヒ方トカ、育兒ノ實地指導ヲヤルト云フ風ナ工夫ヲ致スコトモ一ツノ考ヘ方カト思フノデアリマスガ、何カ現ニ行ツテ居リ、又是カラ行ハントスル、サウ云フ方面ノ女學校ノ教育ノ建直シノ御工夫構想ガデゴザイマシタナラバ御伺ヒ致シテ置キタイト思ヒマス

○中野(善)政府委員 洵ニ御同感ノコトバカリデアリマス、只今御述ベニナリマシタコトト全ク同ジヤウナ考ヘ方デ、女子ノ中等教育ノ改善ヲ出來ルダケ速カニシタイト云フ考ヘデ、着々準備ヲ進メテ居リマス、殊ニ只

今御述ベニナリマシタ育兒保健ト云フコトニ付キマシテハ、文部省ニ於キマシテモ從來家事裁縫ト云フヤウナ中デ扱ツテ居リマシタノヲ、特ニ此ノ育兒保健ト云フコトニ重點ヲ置イテ、大イニ女子ノ教育ヲ刷新改善シナケレバナラナイト云フコトニ各方面ノ專門家ノ意見ガ一致致シテ居リマス、唯此ノ保健科ト云フ教科目ヲ立テルコトニ付キマシテハ、尙ホ研究ノ餘地ガアルト思ヒマス、從來ノ家事裁縫ト云フ教科目ノ中デ、育兒保健ヲ扱フコトモ宜イガ、或ハ家事裁縫ト云フヤウナ教科目ノ立テ方ハ再檢討ヲ致シ或ハ家政科ト云フヤウナコトニ致シマシテ、單ニ裁縫ト云フコトノミニ限ラズ、モット廣ク被服全體ヲ扱フ、被服ノ更生或ハ處理ト云フヤウナ所カラ、各方面ヨリ考ヘテ致スト云フ風ニスルノガ宜イノデハナイカト云フ意見モゴザイマス、何レニ致シマシテモ其ノ中デ育兒保健ト云フコト、女子ノ教育ニ於テ最モ重要ナル點デアアルコトハ皆專門家ノ一致シテ居ル所デゴザイマシテ、只今ノ御趣旨ノ方向ニ向ツテ近ク女子中等教育ガ改善サレルモノト考ヘテ居リマス、重ネテ申上ゲマスガ、保健科ト云フ教科ノ立テ方ニ付テハ、尙ホ檢討ノ必要ガアルト考ヘテ居リマス

○羽田委員 只今ハ文部省ニオイデ戴キマシテ洵ニ有難ウゴザイマシタ、最後ニ一言ダケ厚生省ニ御願ヒテ致シテ置キタイコトハ、ヤハリ少年工ノ保健問題デアリマスガ、大體國民學校ヲ出マシテ工場ニ入り、半年カ一年位ノ間ニ結核ト云フモノガ現ハレテ來ルヤウデアリマシテ、半年一年ト云フモノガ一番大切ナ時期ダと思ヒマス、ソレガ濟ミマス、免疫ニナリ、或ハ其ノ環境ニ

馴レテ參ルト云フヤウナ統計ノヤウデアリマスガ、一ツ厚生省ニ於カレマシテモ此ノ重大ノ半年ナリ一年ト云フモノヲ、只今ノ勞働手不足ト云フコトヲ以テ餘リ過度ノ勞働ヲ致シ、或ハ榮養ノ不良ヲ致スト云フヤウナコトノナイヤウニ、一ツ特ニ適正ナル勞働ト云フモノヲ考慮シテ戴キタイ、若キ小國民ノ保健ノ上ニ更ニ御注意ヲ願ヒタイと思ヒマス、以上デ私ノ質問ヲ終リマス

○西尾委員長代理 次ハ松尾孝之君

○松尾(孝)委員 今マデノ質疑應答ヲ承ツテ居リマシテ大分分リマシタカラ、出來ルダケ重複ヲ避ケマシテ簡單ニ質問シタイと思ヒマス、先ヅ政府委員ノ御都合モアラウト思ヒマスカラ、文部省ノ方ニ最初御尋ネシタイト思ヒマス、今羽田君ノ質問ノ中ニ我が國ノ女子教育ヲ再編成シタラドウカト云フ御質問ガアリマシタガ、私モ全然贊成デアリマシテ、羽田君ガ指摘サレマシタ乳幼兒ノ死亡率ガ非常ニ高イト云フコトハ、其ノ大部分ガ我が國女性ノ育兒方面ノ知識ノ缺陷ト云フコトカラ來テ居ルト思ヒマス、其ノ點ニ付テハモウ御答辯ヲ得タノデ分リマシタガ、唯此ノ際一ツ御聽キシタイノハ、中等教育デアアル女學校ニ高等ト云フ字ヲ冠シテアルト云フコトデアリマス、今更我ガ國ノ女子教育ニ高等ト云フ字ナドヲ冠スル必要ハ全然ナカラウト思ヒマスガ、之ヲ止メテシマツタラドウカ、是ハ理由ハ詳シク申シマセス、ソレカラモウ一ツハ國民學校アタリノ學校衛生ノ點ニ於キマシテ、是ハ東京アタリノ大キナ此ノ頃出來タ學校等ハ相當ニ施設ガシテアルヤウデスガ、全國的ニ見タ場合ニハ、我が國ノ國民學校ノ學校衛生ト云フモノハ、全然是ハ成ツテ居

ナイヤウニ私共考ヘラレマス、此ノ點ニ付テハ曩ニモ他ノ機會ニ橋田文部大臣ニ申上ゲタノデスガ、依然トシテ此ノ點ニ付テ政府ハ積極的ニ改善ヲスルト云フヤウナ御考ヘガナイヤウデスガ、先ヅ此ノ點カラ一ツ御伺ヒシタイト思ヒマス

○中野(善)政府委員 最初ノ女子ノ中等學校ニ高等ト云フ名稱ノ付イテ居リマス點デゴザイマスガ、能ク其ノ沿革ヲ今承知シテ居リマセヌノデドウ云フ意味デゴザイマスカ御答ヘ出來マセヌガ、中等學校ノ中等教育ノ改善ト云フコトガ近ク行ハレルコトト考ヘマス、其ノ際ニ女子ノ中等學校ノ名稱モ又考ヘラレルコトニナルト思ヒマス、御承知ノ通り教育審議會ノ答申ニハ女子中等學校ト云フ名稱ガ出テ居リマシテ、高等女學校トハナツテ居リマセス、何レ是ハ中等教育ノ全面的ノ改革ノ時ニ、而モソレハ極メテ近イ時期ト考ヘテ居リマスガ、名稱ノコトハ十分ニ研究致スコトニナルト存ジテ居リマス

ソレカラ國民學校ノ學校衛生ノ點ニ付キマシテ、尙ホ或ハ不十分ノ點モアルカト存ジマスガ、御承知ノ通り文部省ニ體育局ト云フ一局ガ設ケラレマシテ、其ノ中ニ衛生課ト云フ課モ置カレマシタ、此ノ方面ニ付テ十分督勵ヲ加ヘルコトニナツテ居リマス、又是モ御承知ノコトト存ジマスガ、從來學校看護婦ト云フ小學校時代ニ此ノ看護婦ヲ置イテ居ル學校モ相當ニアツタノデゴザイマスガ、之ヲ國民學校制度實施ノ時ニ養護訓導ト云フ名稱ニ改メマシテ、待遇モ訓導ノ待遇ヲ與ヘルト云フコトニナツテ居リマス、唯是ダケデ學校衛生ハモウ既ニ十分デアルト云フコトハ決シテ申上ゲル譯デハゴ

ザイマセヌガ、學校衛生ノ方面、殊ニ兒童ノ養護ト云フコトニ付キマシテ、十分意ヲ用ヒテ居ルト云フコトノ一端トシテ申上ゲテ置キタイト存ジマス、尙ホ近ク改善セラレマス師範學校ノ教育ニ於キマシテハ、專ラ師範學校ノ卒業生ガ國民學校ノ兒童ヲ教育スル立場ニゴザイマスノデ、此ノ兒童ノ衛生或ハ保健ト云フコトニ付キマシテ特ニ從來以上十分ナ教養ヲ授ケルヤウニシタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、ソレハ唯教育上ノ講義ダケデハナク、實際ノ衛生或ハ救急看護ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、相當ノ經驗ヲ持タスヤウニ致シタイト云フノデ色々準備ヲ致シテ居リマスノデ、其ノ學校衛生方面ニ意ヲ用ヒテ居リマスト云フコトハ申上ゲラレルノデアリマス、唯尙ホ現在不十分ノ點ニ付キマシテハ一層力ヲ注ギマシテ、出來ルダケ完全ニ致シタイト斯ウ考ヘテ居リマス

○松尾(孝)委員 其ノ點ニ付テモツト申上ゲタイコトモアリマスガ、時間ノ關係上省路致シマシテ普通局長ハ宜シウゴザイマスガ、其ノ次ニ專門局長ニ御尋ネシタイノデスガ、今度政府ガ國民體位ノ向上ノ爲ニ此ノ諸法案ヲ提案サレマシタガ、此ノ醫療制度ノ改正ト云フモノハ全ク我が國トシテハ劃期的ノ改正デアリマス、併シ其ノ根本ハ醫療ニ從事スル醫師其ノ人ヲ得ナケレバナラナイト思ヒマス、本法ノ第三條ニハハツキリ醫師トシテノ本分ヲ定メテアリマス、此ノ使命ノ重大ナルコトヲ能ク自覺シテ此ノ指定ノ本分ト云フノハ、要スルニ昔カラ言ハレテ居ル醫ハ仁術ト云フ點デアラウト思ヒマス、此ノ仁術ト云フ精神教育ガ兎角今日マデ醫者ノ養成方面ニ閑却サレテ居タ

ノデヤナイカト私共思ハレマス、我が國ニ無醫村が全國デマダ二千何百カアリマス、サウシテ一方都會ニハ醫者ガアリ餘ツテ居ルト申シタ方ガ宜イカドウカ知リマセスガ、兎ニ角非常ニ多クテ寧ロ患者ヲ食フト云フヤウナ者モナイデハナイ、ドウモ儲カラナイ地方ニハ行キタガラナイト云フヤウナ傾向ガアル、全國ニ何十萬ト云フ開業醫ガ居ラレルト思ヒマスガ、其ノ中ニハ相當生活モ安定シテ、サウシテ後顧ノ憂ヒガナイト云フヤウナ者モ少クナイト思ヒマスガ、サウ云フヤウナ者サシノ中デ犧牲的ニ此ノ無醫村ニ行ツテ醫ハ仁術ダト云フ、其ノ仁術ヲ施サウト云フ人モ偶ニハ私ハ出デモ宜イト思フノダガ、中ニハサウ云フ者ガアルカモ知レマセスガ、私共減多ニ聞カナイ、私共數回中支、北支方面ニ參リマシタガ、アノ山ノ中ノ寒村ノ所ニ歐米人ガ教會ヲ設ケ、病院ヲ設ケ、學校ヲ經營シテ居ル、アノ目的ニハ或ハ色々ノ意味ガアルカモ知レマセスガ、兎ニ角アレバヤツテ支那ノ民心ヲ巧ク懷ケテ居ル、アノ光景ヲ見ルト全ク涙ダマシイヤウナ感激ヲ覺エル、斯ウ云フヤウナ本當ニ人類ノ爲ニ犧牲ニナツテ行カウト云フヤウナ者サシノ中、全國何十萬ノ中ニ幾ラカデモアレバ我が國ノ此ノ無醫村——無醫村ト云フテモ本當ニ經濟的ニ成立タナイ無醫村ト云フノハ其ノ三分ノ一位ダト云フ御話デアリマスガ、サウ云フモノモ解決出來ルノデハナイカト思ヒマス、サウ云フエ合デアリマスガ、此ノ無醫村ノ解消問題ハ別ニ後ニ御尋ネ致シマスガ、是ハ國家トシテモ別ニ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、兎ニ角此ノオ醫者サント云フモノガ本當ニ其ノ職分ニ奉公シテ、サウシテ此

ノ立派ナ仁術ヲ施スト云フヤウナ精神的ノ鍊成ガ從來兎ニ角ナカツタノデハナイカト思ヒマス、此ノ點ニ付テ先ヅ専門學務局長カラ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○永井政府委員 醫ハ仁術トシテノ精神教育ト云フモノガ是マデノ學校デ缺ケテ居ツタノデハナイカト云フヤウナ御話デアリマス、其ノ御趣旨ニ付テハ私モ全ク御同感ニ感ズルノデアリマス、無醫村等ノ問題ニ關シマシテモ法規ノ強制ニ依ルコトナクシテ、自ラ自發的ニ行クヤウナ心構ヘト云フモノガ醫者ニアツテ然ルベキデアリ、又サウ云フヤウナ人ヲ養成スルト云フコトニ教育ノ要點ガ向ツテ行カナケレバナラナイモノデアルト云フコトニ付テハ全ク同感ニ存ズルノデアリマス、文部省ト致シマシテモ夙ニ其ノ點ニ付テ最モ注目シテ考慮致シテ居ルノデアリマス、實ハ只今醫學教育刷新委員會ト云フモノヲ作ツテ居リマシテ、其ノ醫學教育刷新委員會ニ於テ目標ト致シマスル所ハ、全ク今御話ニナツタヤウナ點ノ中心ニシテ、サウシテドウ云フ風ニ全體ノ醫育ト云フモノノ刷新ヲヤツタ宜イカト云フコトヲ考慮セント致シテ居リマス、御趣旨ノ點ハ御同感ニ存ジマス

○松尾(孝)委員 此ノ點ニ付キマシテ都會ノオ醫者サシノハ地方ノオ醫者サシノ方ガ割合ニ純眞デ、醫ハ仁術的ノ精神デ職務ヲ執ツテ居ラレルヤウデアリマス、曩ニ申シマシタヤウニ、都會ニハ醫師ガ多過ギテ、却ツテ患者ヲ食フト云フヤウナ者ガナイデモナイト聞キマスガ、ソレデ厚生省トシテハ之ヲ人口ニ比例シテ醫師ヲ分布セシメルト云フ御考ヘガアルカドウカ、是ハ醫療制度調査會ノ答申ニモアルヤウデアリマスガ、

又今回ノ法案ノ第二十一條ノ地方長官ノ許可ヲ受ケルト云フ此ノ規定等ニ依ツテ是ガ或ル程度マデ出來ルカドウカ、此ノ點ニ付テ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○加藤政府委員 厚生省ト致シマシテハ醫師ノ適正ナル分布、配置ト云フコトニ付キマシテハ、將來特ニ意ヲ用ヒテ參ラナケレバナラヌモノト考ヘテ居リマス、本法案ノ許可制度ノ運用ニ付キマシテハ、必ズシモ數字の基礎ノミニ依ツテ拒否ヲ決定スル者ヘハ持ツテ居ナイノデアリマス、午前中ニモ御答ヘ申上ゲタノデアリマスガ、併シナガラ今松尾委員ノ御尋ネノヤウナ人口ノ狀況ヲ無視シテヤル譯ニハ勿論行キマセス、併シ人口ノ狀況等ハ勿論考慮ニ入レマシテ分布ノ是正、適正ト云フコトニハ今後一段ト力ヲ盡シテ參リタイト思ヒマス

○松尾(孝)委員 専門學務局長ガマダオイデニナリマスカラ御同ヒ致シマスガ、醫師ノ免許制デアリマス、御承知ノ通りニ醫師及ビ齒科醫師ハ一定ノ學校ヲ卒業シナケレバ醫師タルノ資格ヲ得ラレナイ、而シテ學校ヲ卒業スレバ直チニ開業ガ出來ルト云フコトニナツテ居リマス、併シ是ハ學校ヲ卒業シタバカリデ直グト一本立ノオ醫者サシニナツテ患者ヲ取扱フト云フコトハ、一ニ非常ナ危險ガ伴フノデヤナイカト思フ、此ノ委員ノ中ニモオ醫者サシノ澤山オイデノヤウデアリマスガ、オ醫者サシノ内幕ナドヲ聞イテ見ルト、實ニ戰慄スルヤウナコトヲ聞カサレル、デスカラ今回ノ國民醫療法ノ第二十二條ニハ二年以内主務大臣ノ指定スル業務ニ従事スベキコト云々ト云フヤウナコトモアリマスケレドモ、是ハ一定ノ學校ヲ卒業シタ後ニ二年位ハ病院ト

カ、其ノ他ニ於テ實地ノ修業ヲシタ後ニ初メテ免許ヲ與ヘルト云フ位ニスル必要ガアルト思フ、他ノ司法官ニシテモ、或ハ行政官ニシテモ、一定ノ學校ヲ卒業シタバカリデハ其ノ資格ヲ得ラレナイ、國家試驗ヲ受ケナケレバナラヌ、人間ノ取返シノツカナイ身體ヲ診ル醫者ガ、直チニ學校ヲ出デ一本立ノ醫者ニナツテ、人間ノ身體ヲ診ルト云フコトハ、辯護士ガ權利義務ヲ取扱フ以上ニ私ハ危險デヤナイカト思ヒマス、サウ云フ點ニ付テ厚生省、文部省ハドウ云フ者ヘヲ持ツテ居ラレルカ

○永井政府委員 一定ノ學校ヲ出タゲデ免許ヲ與ヘ、診療ニ従事セシムルト云フコトニ付テドウ考ヘルカト云フ御話デアリマスガ、御話ノ要點ハ要スルニ實地ニ付テノコト、例ヘバ臨床等ニ付テモ實際ノ體驗ト云フモノヲ十分ニ致シテ居ルカドウカト云フコトニ懸ツテ來ルモノダト思フノデス、是等ノ點ニ付キマシテハ先程モ御尋ネノアリマシタ時ニ御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、醫學教育刷新ト云フコトニ付テ、只今色々ト攻究致シテ居ル其ノ中ノ一ツニハ、學校ノ教科課程ニ於テ臨床方面ノコトニ付テ、從來ヨリモ一層ノ時間ヲ取ツテ、サウシテ十分ナル訓練ヲ積マシメルト云フ方面ニ向ツテ行クト云フコトニ於テ解決ヲツケタイト思ツテ居ルノデアリマス、尙ホ御承知ノヤウニ從來ハ大抵大學ヲ出マシテモ、事實大學病院等ニ殘リマシテ色々ト經驗ヲ積ミマシテ、一人前ニナツテ開業スルト云フヤウナコトデアツタノデアリマス、只今ハ徵兵ノ關係等ヨリ致シマシテ、大學ヲ出マシテ直チニ軍醫方面ノ仕事ニ従事ヲ致スト云フ者ガ實ニ多イノデアリマス、サウ云フ爲ニ學

カ、其ノ他ニ於テ實地ノ修業ヲシタ後ニ初メテ免許ヲ與ヘルト云フ位ニスル必要ガアルト思フ、他ノ司法官ニシテモ、或ハ行政官ニシテモ、一定ノ學校ヲ卒業シタバカリデハ其ノ資格ヲ得ラレナイ、國家試驗ヲ受ケナケレバナラヌ、人間ノ取返シノツカナイ身體ヲ診ル醫者ガ、直チニ學校ヲ出デ一本立ノ醫者ニナツテ、人間ノ身體ヲ診ルト云フコトハ、辯護士ガ權利義務ヲ取扱フ以上ニ私ハ危險デヤナイカト思ヒマス、サウ云フ點ニ付テ厚生省、文部省ハドウ云フ者ヘヲ持ツテ居ラレルカ

校ヲ出マシテ、病院勤メヲスルト云フヤウナ期間ガ比較的ナインデアリマス、併シナガラドウシテモヤハリ診療ノ業務ニ服サナケレバナラナイト云フ事態ニ到達致スヤウナ譯合ノモノモアルデアリマス、サウ云フ點カラシマシテ一層學校ニ居リマス時分ニ、卒業シテ診療ニ從事シテモ、餘リ未經驗デ非常ニ危險ナモノデアルト云フコトノナイヤウニ、學校ニ居ル間ニ十分修練ト經驗トヲ積マシメルト云フ方向ニ向ツテ銳意努力致スト云フコトニ於キマシテ、只今御質問ニ相成リマシタ色々ノ御危惧ノ點ニ對スル萬全ノ處置ヲ講ジテ参リタイト思ツテ居リマス

○松尾(孝)委員 マダ意見モアリマスガ是ハ此ノ程度ニ致シマシテ、文部省ノ方ハモウ結構デアリマス、今度ハ主トシテ厚生省ニ御尋ネシマス、國民醫療法案ニ付テ御尋ネ致シマスガ、此ノ法案ニアル一億圓ノ資本金ハ、主トシテ結核ノ病床ヲ新設スルト云フコトニ使フ、サウシテ一般醫療ノ方ハ大體ニ於テ醫療債券ト患者ノ負擔ニ依リ大體自賄ヒト云フ方法デヤツテ行クト云フノガ前提ノヤウニ伺ツテ居リマス、サウシテ經費ハ結核療養ノ方ト一般醫療ノ方トヲ混同シナイデ、特別會計的ニヤルト云フ、サウキドナタカノ質問ニ對スル御答辯デアリマシタガ、サウスルコトニハ私モハツキリソレガ出來レバ結構ト思ヒマス、是ガ若シ混同デモ致スヤウニナルト、ドウシテモ結核治療ノ方ニ多クノ費用ガ嵩ムノデ、一般醫療ノ方ノ經費ガ不足スルト云フ結果ニナリマスカラ、此ノ點ハモウサツキノ御答辯デ承知シテ宜イカト思ヒマス、唯問題ハ色々ナ病院ヤ診療所ヲ統合サレル結果、從來ナラバ市町村ト

カ、府縣ト云フ公共團體カラ補助ヲ貰ツテ居ルモノ、或ハ篤志家ノ寄附ナドガ、此ノ醫療團ニ統合サレレバナクナルグラウト思ヒマス、サウ云フ結果ハ勢ヒ醫療費ガ嵩ムヤウナ結果ニナル虞ガナイトモ限ラナイト思ヒマスガ、其ノ點ハドウカ、御伺ヒ致シマス

○加藤政府委員 只今後段デ御尋ネノ問題デゴザイマスガ、醫療團ガ全國的ニ組織ヲ持ツ必要ニ上統合致シマスヤウナ病院ニ付キマシテハ、只今ノ所ノ考ヘ方トシテハ、慈善病院ノ經費、診療ヲ致シテ居リマスヤウナモノハ、成ベク之ヲ統合致サナイト云フヤウナ考ヘ方ヲシテ居ルデアリマシテ、隨ヒマシテ他ノ方面カラ賜金、補助金等ノ交付ヲ受ケテ安イ治療ヲシテ居ルト云フヤウナ部分ハ成ベク之ヲ避ケマシテ、醫療團ノ事業經營ニ付テハ、御懸念ノヤウナコトヲ努メテナカラシムルト云フ方針デ居リマス

○松尾(孝)委員 此ノ醫療團ト一般開業醫トノ關係ニ付テハ、本會議デアリマシタカ、小泉厚生大臣ノ御答辯ノ中ニ、決シテ對立的ナモノデハナクシテ協力シテ行クモノダト云フ御答辯ガゴザイマシタガ、併シ實際ニ於キマシテハ此ノ醫療團ガ設立サレタ曉ハ、開業醫ガ相當ニ壓迫ヲ受ケルモノト懸念サレテ居ル向キモアリマス、此ノ點ニ付テ政府ノ見解並ニ對策ヲモウ一度念ノ爲ニ承ツテ置キタイト思ヒマス

○武井(群)政府委員 醫療團ト開業醫ノ關係ニ付キマシテハ、仰セノ通り厚生大臣ガ他ノ機會ニ於テ御答ヘシタ通りデアリマシテ、當局ト致シマシテハ飽クマデモ醫療團ト開業醫ノ二本建デ参リタイト思ツテ居リマス、此ノ間ニ於テ相提携シテ参ルコトガ望マシ

イト思ツテ居リマス

(西尾委員長代理退席、委員長着席)

隨テ醫療團ノ設立ニ依ツテ開業醫ガ脅威ヲ受ケルト云フコトハナイト思ツテ居リマス、又アツテハナラヌト思ツテ居リマス、但シ醫療團ハ屢、申ス通り醫療内容ノ向上ト云フコトモ目指シマスノデ、若シモ現在ノ開業醫ノ中ニ、ソレ等ノ醫療内容其ノ他ノ點ニ於テ、醫療團ノ設立ニ依ツテ脅威ヲ感ズルト云フヤウナモノガアルトスレバ——絶無トハ申セナイカト思ツテ居リマスガ、政府ノ考ヘ方トシテハ、開業醫ハ寧ロ從來ノヤウニ、必要ガナクテモ一定ノ設備等ハ皆揃ヘナケレバナラヌト云フ實情ガ、今回醫療團ガ出來マスレバ、殆ド必要ナクテモ備ヘナケレバナラヌト云フ設備ハ醫療團ニ設備ナケレバナラヌト云フ設備ハ醫療團ニ設備サセテ之ヲ利用スルト云フコトモ出來ル譯デアリマスカラ、却テ開業醫ニ取ツテモ、財政的經濟的ノ負擔ハ輕クナル場合ガアラウカトモ考ヘテ居リマシテ、飽クマデモ摩擦ナシニ提携デ行クヤウニ進メテ参リタイト思ツテ居リマス

○松尾(孝)委員 統合サルベキ現在ノ醫療機關ハ、政府ノ案ニ依レバ道府縣立病院及輕費診療所ハ無償デ、市町村立及ビ産業組合ハ時價デ買收スル、公益法人ノ方ハ其ノ公益法人ヲ解散サセテ買收スル、私立ノモノハ希望ニ依ツテ買收スル方針ダト云フノガ原則ノヤウニナツテ居リマス、其ノ他赤十字、濟生會ト云フヤウナ官立ノモノハ除外サレテ居リマス、私ノ言フノハ斯様ナ既設ノモノヲ特ニ統合シナイデ、ソレハソレトシテ置イテ、原則トシテ醫療團ヲ別ニ設立シテ、或ル場合ニ依ツテ以上ノモノヲ統合スルト云フノヲ例外的ニ何故サレナカ

ツタカ、之ヲ御聽キシテ置キタイト思ヒマス、モウ一ツハ從來色々宗教的ナ團體ガ拵ヘテ居ラレル診療所、或ハ皇室ノ御下賜金等ニ依ツテ出來テ居ル、病院ナドニ付テハ、先程ノ御答ヘニ依ツテモ大體其ノ儘存置シテ統合サセナイ、除外スルト云フ御方針ト此ノ場合承ツテ置イテ宜シイデアアルカドウカ、此ノ點先ヅ御聽キシタイト思ヒマス

○武井(群)政府委員 只今御話ノ二ツノ點ニ付キマシテハ、色々ノ機會ニ御話合ガ出デ、大臣初メ御答ヘ致シタコトデアリマスガ、重要ナコトデアリマスノデ、繰返シテ申上ゲタイト存ジマス、第一ノ點ニ付キマシテ、政府ノ案ニ依レバト云フヤウナ御言葉ノヤウニ拜承致シタノデアリマスガ、當局ト致シマシテハ、公立病院ハ無償デ取ルトカ、産業組合ハ買收スルトカ、或ハ出資スルトカ云フヤウニ、原則的ニ一ツノ型ニ嵌メテ計畫シテ居ルモノハナイノデゴザイマス、是ハ午前ニモ申上ゲマシタヤウニ、一ツノ醫療團ノ醫療體系ヲ作ル必要ガアリマスカラ、其ノ作ル必要上無醫村ノ如キ所ニハ速カニ病院、診療所ヲ作ラナケレバナラヌト思ヒマス、ソレカラ内容ノ完備シナイ所ガアリマスナラバ、是モ新設ヲ急ガナケレバナラヌト思ヒマスガ、同時ニ其ノ體系ニ屬スル所デ現ニ存スルモノガアツテ、之ヲ體系ニ取入レル方ガ都合ガ好イト云フモノニ付キマシテハ、各個別々ニ相談致シマシテ、協議ノ上デ出資ニ依ルカ、買收ニ依ルカ、或ハ借受ケルカト云フコトハ、具體的ノ問題トシテ研究スル積リデアリマシテ、ソレモ協議ノ調ハナカツタ場合ニ於テ、初メテ主務大臣ガ之ヲ決定スル、而モ例ハバ産業組合ト云フヤウナモノノ病院ヲ統合ス

ル場合ニ於キマシテハ、主務大臣ハ産業組合ヲ監督スル農林大臣モ厚生大臣ト協議ヲ遂ゲルト云フ立場ニ於テ能ク相談ヲシテ、ソコニ無理ノナイヤウニスルト云フ風ニ致ス考ヘデゴザイマス、此ノ點ハ誤解ノ生ジ易イ點デアリマスノデ、ハツキリ申上ゲテ置キタイト存ジマス、第二ノ點ニ付キマシテハ大體御話ノ通りデアリマシテ、濟生會ノ如キ特別ノ恩召ニ依ツタモノニ付キマシテハ、此ノ醫療團ノ體系ニハ只今ノ所加ヘル意思ハゴザイマセス

○松尾(孝)委員 其ノ次ニ、ドナタカ醫療ノ官僚化ト云フコトニ付テ御心配ニナツタ方ガアツタヤウデアリマスガ、私モ其ノ點ニ付テハ同ジヤウナ感じヲ持ツタノデアリマス、同時ニ此ノ法案ニ依ルト、私ハ都市中心ト云フ傾向ニ陥リ易イノデヤナイカト思ヒマス、是カラ見レバ、東京ニ主タル事務所ヲ置イテ、アトハ適當ノ所ニ置クト云フ風ニモ書イデアリマス、又地方のニ言ヘバ道府縣廳ノ所在地ガ中心ニナツテ、農山漁村等ニハドウシテモ其ノ恩澤ガ薄クナルト云フヤウニナルノデヤナイカト思ヒマスガ、此ノ醫療團トサウ云ツタヤウナ市町村、農山漁村トノ關係、ソレカラ無醫地域ノ解消、斯ウ云フ點ニ付テ一ツ具體的ニ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ今年ノ豫算ヲ見マスト、無醫村補助費トシテ僅カニ三十三万何千圓トカガ計上サレテ居リマスガ、是トハ全然別個デヤナイカト思ヒマスガ、斯ウ云フ點ヲ一ツ御説明願ヒタイト思ヒマス

○武井(群)政府委員 只今ノ御意見ノ前提トシテ、此ノ日本醫療團ノ實現ガ都市中心ニナリハセヌカト云フ御話ノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、當局ハ左様ナ

コトハ全然考ヘテ居リマセス、農村等ニ於テ今日診療機關ノ絶無、若シクハ不足シテ居ルコトハ十分御承知ノ通りデアリ、刻下ノ大キナ問題デゴザイマス、是等ノ所ニ從來ノ開業醫ヲシテ無理ヤリニ開業セシメヨウト致シマシテモ、中々出來ナイコトデアリマスノデ、是等ノ點ニ付キマシテハ醫療團ニ於テ速カニ是等ノ地方ニ診療機關ノ普及ヲサセル必要ガアリマスノデ、普及ト云フ點カラ見マスナラバ、寧ろ農村中心ノ施設トモ考ヘラレテ宜シイカト思ヒマス、併シナガラ又同時ニ醫療内容ノ向上ト云フ點カラ申シマス、或ハ醫者ノ再教育ヲスルトカ云フヤウナニト指導ヲスルトカ云フヤウナコトニ付キマシテ、乃至ハ研究機關ヲ設ケルトカ云フコトニナリマス、或ハソレ等ハ都市ニ置クガ便利ナ場合ガアルカト思ヒマスガ、若シソレヲシテ都市中心ト申スナラバ都市中心カモ知レマセヌケレドモ、醫療機關ノ普及ト云フ、國民全般ニ醫療ヲ普及セシメルト云フ點カラ考ヘマスナラバ、寧ろ農村中心ト云フヤウナ現象ガ現ハレ來ルモノト私共ハ考ヘテ居ル譯デアリマス、併シ日本醫療團ノ事務所ヲ東京ニ置クト云フコトハ、全國ノ此ノ仕事ニ付テ統轄ヲスル元締デアリマスカラ、是ハ東京ニ置クノガ宜シイカト思ツテ居リマスガ、同時ニ地方ニ於テ此ノ仕事ヲ活潑ニヤツテ参リマス爲ニ地方ノ組織ヲ考ヘテ居ルコトハ、午前中ニモ申上ゲタ所デアリマス

○松尾(孝)委員 サウシマスト今次官ノ御話デハ、寧ろ農村中心ニナルト云フ大變結構ナ御答辯デシタガ、ソレヲ一ツ具體的ニ斯ウ云フ方法ダカラ農村中心ニナル、又無醫村ハ斯ウ云フヤウナ方法デ解消シテ行ケ

ルト云フ風ナ點ヲ一ツ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○武井(群)政府委員 此ノ點先程モ一寸申上ゲタ譯デアリマスガ、重ネテノ御尋ネデアリマスノデ申上ゲマスガ、今仰セニナリマシタヤウナ醫者ノ居ナイ地方、診療機關ノ足ラナカツタ地方等ニハ、診療團ニ依ツテ速カニ病院ノ建設ヲシナケレバナラスト思ヒマス、ソレカラ結構ノ如キモノガ今日御承知ノ通り、石川、富山、福井ト云フヤウナ北陸地方ナドニハ最も多イノデアリマス、是等ノ地方ニハ速カニ結構ノ療養施設等ヲ充實シナケレバナラナイト思ヒマス、斯様ナコトヲ考ヘマスルト、所謂重點主義デ參ルコトガ結果ニ於テハ農村中心ニモナラウカト申スノデアリマシテ、誤解ノナイヤウニ申上ゲタイト存ジマスガ、醫療團ト致シマシテハ、農村ヲ中心ニスルトカ、或ハ都會ヲ中心ニスルトカ云フ一ツノ前提ト下ニヤツテ居ル譯デアリマセス、日本全國ニ醫療機關ノ普及及出來マシヤウニ致スコトガ目的デアリマス、併シ局部的ニ考ヘレバ、左様ニモナルカト思ヒマスノデ、念ノ爲ニ申上ゲタ譯デアリマス

○松尾(孝)委員 其ノ次ニ、結構ノ豫防撲滅ト、乳幼児ノ死亡率低下ノ問題デスガ、此ノ二ツノ問題ガ解決出來レバ、全く厚生省ノ仕事ノ大部分ガ成功シタト云ツテモ過言デナイ位ニ、大キナ又深刻ナ問題ダラウト思ヒマス、ソレニ依ツテ政府ハ今回斯ウ云フ戦時下ノ議會ニ斯ウ云フ法案ヲ提出サレタノダラウト、私共ハソレヲ多ト致シマスガ、之ニ要スル豫算ノ問題デスガ、是ハ豫算委員會デ、委員ノ質問ニ對シテ大臣カラ色々御答辯ニナツテ居リマスカラ姑ク措

クト致シマシテ、此ノ國民醫療法案ノ第二十九條ヲ見マス、「日本醫療團ハ國民體力ノ向上ニ關スル國策ニ則シテ診療ノ普及ヲ圖ルヲ以テ目的トス」ト云フ風ニ書イデアリマス關係上、國民生活ノ協同組織ト申シマスカ、或ハ又一方社會保健方面カラ有機關係ト申シマスガ、斯ウ云フ點ニ付テドウモビタリト行ツテ居ナイヤウニ考ヘラレマス、殊ニ結構ノ撲滅ノ如キハ、是等國民組織ノ積極的ナ活動ニ依ツテ、綜合的ニ生活ヲ指導シ、保健ヲ指導シ、サウシテ一方ニハ文化的ノ施設ト相俟ツテ、本當ニ此ノ對策ヲ樹立シテ實行シテ行カナケレバ、效果ガ薄イト思ヒマスガ、斯ウ云フ點ニ付テ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○武井(群)政府委員 有機的ニ國民保健ノ向上ヲ圖ラナケレバナラスト云フ御説ニ付キマシテハ御尤モト存ジマス、隨ヒマシテ政府ニ於キマシテハ醫療法ノ改正ヲ致シ、日本醫療團ノ設立ニ依リマシテ、醫療ノ普及ヲ圖ルコトニ致シタ譯デアリマスガ、是ハ申スマデモナク施設ノ普及デアリマス、ソコデ一方國民ニ於キマシテハ、之ヲ漏レナク利用シ得ルヤウナ組織ニシテヤラナケレバナラスコトデアリマスノデ、仰セニモナリマシタヤウニ、健康保險法乃臣國民健康保險法ノ改正ニ依リマシテ、其ノ國民ノ經濟的ノ負擔等ニ付テ不安ヲナカシメヨウト致シテ居ル譯デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ詳シク申上ゲル必要モナイト存ジマスガ、國民健康保險ノ如キハ、過去二年ノ間ニ於テ六百万人ノ組合員ガ出來タノデアリマスガ、明年度ニ於キマシテハ更ニ一舉ニシテ一千四百万人ノ組合員ヲ作ラウ、大體農山漁村ニ於ケル國民ハ

漏レナク國民健康保險組合ニ入り得ルヤウナ仕組ニ致サウト考ヘ、又結核等ニ付キマシテハ、之ニ對スル給付ノ期間等が從來ハ短クアリマシタノヲ、今回ハ延長シヨウト云フヤウナコトヲ考ヘマシテ、兩々相俟ツテ國民ヲシテ懸念ナク醫療ノ恩惠ニ浴シ得ルヤウニ致サウト考ヘタ譯デアリマス

○松尾(孝)委員 時間ガナクナリマスカラ簡單ニ申上ゲマスガ、結核ノ撲滅ニ付テハ、今申シマシタ、又次官ノ御答辯ノヤウニ、生活ノ指導トカ、保健指導、文化施設等ニ俟タナケレバナラナイト共ニ、又罹病者ノ取扱ヒト申スカ、取締リト申シマスカ、此ノ點ニ付テモウ少シ強化スル必要ガアルト私ハ思ヒマス、現在傳染病ノ如キハ傳染病豫防法ニ依リマシテ、患者ヲ一定ノ期間隔離ヲシ、交通遮斷モ出來ル、サウシテ又發病者ガ出タ家庭ニ付テハ、強制的ニ消毒ナドヲ警察トカ、市町村當局ガ出來ルト云フヤウニナツテ居リマスガ、我が國ノ結核ハ我が民族ニ隨分深く食入ツテ居ルモノデスカラ、斯ウ云フ點ニ付テハ餘程強クヤラナクテハ中々之ヲ撲滅スルコトハ困難ダト私ハ思ヒマス、斯ウ云フ意味ニ於テ今度病床ヲ十万人分拵ヘラレト言ハレマスガ、斯ウ云フ患者ハ傳染病ノヤウニ一定ノ場所ニ隔離スルトカ、或ハ又其ノ家ニ行ツテ強制的ニ消毒モスルト云フヤウナ所マデ行カナクテハ、中々此ノ傳播ヲ防止スルコトハ困難デナイカト思ヒマス、其處ノ衣類トカ、什器等ニハ何年デモ病菌ガ殘ツテ居ル、昔肺病ハ遺傳デアルトカ何トカ言ハレタノモサウ云フ所カラダラウト思ヒマスガ、サウ云フ意味ニ於テ結核豫防法ヲ改正シテ強化スル必要ガアルト思ヒマス、今結核豫防法以

外ニ、例ノ古物商ノ取締規則トカ、質屋取締規則ナドニハ、僅カニサウ云フモノヲ取ツテハイケナイト云フヤウナ手緩イ規則ガアリマスガ、アア云フモノハ必ズ警察署ナリ市町村ガ消毒スルナリ、焼クナリ、或ハ蒸スナリ、兎ニ色々々ナ方法ガアリマセウガ、サウ云フ手續ヲ執ルニアラザレバ再ビ使用出來ナイト云フヤウニスルナリ、患者ヲ隔離スルナリ、サウ云フヤウニヤラナケレバナラスト思ヒマス、ソレカラ一番危険ナノハ、重病者ヨリモ寧ロ半療半業ト申シマスガ、其ノ生活ノ工合ニ依ツテ十分ノ療養ガ出來ナイデ、職務ニ從事シナガラ療養シテ居ルト云フノガ非常ニ危險ダト思ヒマス、斯ウ云フヤウナモノニ付テハ、今度ノ此ノ法ニ依ツテ相當救済モ出來ヤウト思ヒマスガ、兎ニ角結核豫防法ヲモウ少シ強化スル御考ヘガナイカドウカ、御聽キシタイト思ヒマス

○武井(群)政府委員 結核ノ豫防撲滅ニ關シテ御述ベニナリマシタ御所見ニ付キマシテハ全然御同感デゴザイマスガ、不幸ニシテ結核ニ罹ツタ者、或ハ結核ニ罹ラントスル虞アル者ニ付キマシテノ政府ノ措置ト致シマシテハ、結核豫防法等ヲ中心ニ致シマシテ、今御述ベニナツタヤウナコトモ現在ハヤツテ居ル譯デアリマスガ、過去ノ實績ニ徴スレバ未ダ徹底シテ居ルトハ申シ兼ねル點ガゴザイマス、今日ノ實情ハ其ノ事モ必要デアリマスガ、不幸ニシテ結核病ニ罹ツタ者デ、療養ノ施設ヲ利用スルコトモ出來ズシテ、空シク天命ヲ棄テルト云フヤウナ者ガ相當多數アリマスノデ、此ノ方ニ急速ニ力ヲ注グ必要ガアル譯デゴザイマスカラ、茲ニ醫療團ト云フヤウナ考案ヲ致シマ

シテ、結核療養ノ病床ノ急速ナル實現ヲ圖ツタ譯デアリマス、併シナガラ是ハ結核ノ豫防撲滅ト云フ根本施設デハナイノデアリマシテ、根本ハ病氣ニナラナイヤウナ工夫スルコトガ最も大切デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ別途ニ出テ居リマス國民體力法中改正法律案ニ依リマシテ、相當程度考慮ヲ拂ツタ譯デアリマス、體格検査等ニ付キマシテモ、其ノ度數ヲ多クシ、殊ニ今御話ノアリマシタヤウナ工場鑛山等ノ勞務者ニ於テハ、一層之ガ検査ノ回數及ビ其ノ検査ノ方法ニ付テノ精密度ヲ増シマシテ、サウシテ結核ニ罹ル虞ノアル者ヲ速カニ措置シテ、罹ラナイヤウニシテヤルト云フコトニ力ヲ注グコトニ致シタ譯デアリマス、ソレ等ニ要スル費用等モ豫算トシテ出テ居ル譯デアリマス、現ニ又官廳等ニ於テモ——厚生省ナドニ於キマシテハ是等ノ點ニ付キマシテ廳員ノ身體検査ヲ勵行シタ結果ト致シマシテ、作業ノ上ニ於ケル色々々注意等ヲ致シ、或ハ休養等ヲ致サセタ爲ニ、結核ニ罹ラズシテ健全ナ狀態ニナツタト云フモノモ多數ゴザイマスノデ、是等ヲ工場鑛山等ニ於キマシテモ極力獎メマシテ、サウシテ初期ノ内ニ於テ結核ニ罹ラナイヤウニ用心サセルコトニ、今後體力法及ビ工場法等ヲ十分ニ活用致シタク考ヘテ居ル譯デアリマス

○松尾(孝)委員 今ノ御答辯ハ分リマスガ、結核豫防法ノ改正ノ點ニ付テ御答ヘガナカッタヤウデスガ、後デモ宜シウゴザイマス、其ノ次ニ乳幼児ノ死亡率ノ問題デスガ、是モモウ皆サシカラ御述ベニナツタノデ多ク申シマセスケレドモ、最近母乳ガ非常ニ不足シテ居ルヤウデアリマス、是ハ全國的ノヤウニ私共ハ聞キ及ンデ居リマス

ガ、是ハ多ク食糧不足ニ原因シテ居ルヤウデス、此ノ點ハ中々重大ナ問題ダト思ヒマスガ、厚生省トシテモ是ハ農林省當局ト能ク打合セ研究セラレタイト思ヒマス、殊ニ工場鑛山アタリノ勞働者ニ對スル食糧ガ非常ニ不足デ、北海道アタリハ僅カ三合六勺シカ配給ニナツテ居リマセス、代用食デモアレバ宜イノデスガ、代用食モ今年ハ大變少イ、ソナ譯デスカラ、其ノ家ノ主人ガ朝食ヲ食ベテ辨當ヲ持タシテヤルト、アトノ家族ノモノハ薄イ粥ヲ啜ルカ、或ハ其ノ他ノモノヲ食ベテ、ソレデモ此ノ大東亞戰爭ヲヤツテ行クノダカラト云ツテ皆我慢シテ居リマスガ、其ノ結果、此ノ前ノ子供ノ時ニハ乳ガ澤山出タケレドモ、今度ハドウモ出ナクナツタト云フコトヲ到ル處デ私共ハ聞クノデアリマス、斯ウ云フ點ハ中々忽セニ出來ナイト思ヒマスカラ、一ツ能ク御考ヘラ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ序デスガ、勞働者ノ稼働能率ニモ非常ニ影響スルコトデ、今石炭ヲ戰時非常増産機關トシテ出セ出セト云ツテ居リマスガ、中々食糧ガ不足デ夜勤ナドモ出來ナイデ困ツテ居リマス、是モ十分農林省ナリ商工省ト御協議ガ願ヒタイト思ヒマス

其ノ次ニ人口政策トシテ結婚獎勵問題デアリマス、是ハサツキ羽田君ノ仰シヤツタコトデ大體盡キテ居リマスガ、政府ハ税金ヲ安クスルトカ、或ハ家族手当ヲ支給スル、或ハ又子寶部隊ヲ表彰スルト云フヤウナ方法ヲ採ツテ居ラレマスガ、結婚ト子供ノ増産ニ付テハ、モット國家ハ積極的ニヤラナケレバイカスト私共考ヘマス、今國民職業指導所ガ出來テ居リマスガ、結婚ノ媒介ノ如キハアア云ツタヤウナ機關ヲ拵ヘル

ナリ、或ハ市町村長ニヤラシテモ宜イガ、アツチノ村、コツチノ町ノ適當ノ年齢ニ達シタ者ヲ分ルヤウニシテ置イテ、積極的ニ組合セテヤラセルヤウナ政策ヲヤルト云フヤウナ御考ヘハナイカドウカ、ソレカラ子實部隊ノ表彰モ結構デスガ、併シ是ナドハ表彰サレタ者ハ最初カラ計畫のニ本當ニ十二人産マウト思ツテ産ンダノデヤナイ、自然ノ結果ガ表彰サレテ居ルノデヤナイカト思ヒマス、ソナコトデハ駄目デスカラ、其ノ人ノ資産ナリ、生活ナリ、収入ナドヲ考慮シテ、何圓以上ノ収入ノアル者ガ何人以上産ンダ場合ニハ、アトハ全部國家ガ責任ヲ負フト云フヤウナ所マデ行カナケレバ、大東亞共榮圈ヲ建設シテ行クノニ駄目デヤナイカト思フガ、斯ウ云フ風ニ積極的ニオヤリニナル御考ヘガアルカドウカ、伺ヒタイト思ヒマス。

○武井(群)政府委員 結核豫防法ノ改正ニ付テノ御答ヘヲ洩ラシタノデアリマスガ、之ニ付テハ國民體力審議會ニ諮問ヲシマシテ、今年ノ初メニ其ノ答申ヲ得タノデアリマスガ、色々ナ關係上準備間ニ合ヒマセズ、結核豫防法ノ全般的ニ互ル改正ヲスル譯ニ參ラナカツタノデアリマス、併シナガラ其ノ答申ノ中ニモ、法案ノ形式等ハ適當ニ政府ニ於テ考慮セヨト云フコトニナツテ居リマスノデ、今回ノ國民體力法ノ改正ノ中、又國民醫藥法ノ中ニモ結核豫防法ノ改正ニ關スル部分ヲ取入レテ居ル譯デアリマシテ、是等ノ施行ノ上ニ於テ、更ニ結核豫防法ノ改正ニ付テノ整理的ノ研究ヲスル積リデ居リマス。

次ニ食糧ノ問題デアリマスガ、人口政策上乃至ハ生産力擴充ノ爲ニ、母乳確保ノ必

要ナルコトハ御説ノ通りデアリマス、屢、米ノ配給不足ニ依ル母乳ノ不足ヲアチラコテヲヨリ懇ヘラレル向ガアルノデアリマシテ、厚生省ニ於テモ是ハ重大ナ問題デゴザイマスノデ、厚生科學研究所ニ於テ澤山ノ實例ニ付テ色々ト具體的ノ調査ヲ進メテ居リマス、マダ結果ヲ申上ゲル譯ニハ參リマセヌガ、只今マデノ結果デハ實際世間デ言フ程ニ甚シクハナイト云フ結果ガ出テ居リマス、併シハ樂觀スベキモノデハナイノデアリマシテ、假令僅カデモ左様ナコトガアリマシレバ、此ノ缺點ヲ補フコトハ當然デゴザイマスノデ、是等ニ付キマシテハ、農林省ト十分ノ協議ヲ遂ゲテ居ル譯デアリマス、最後ノ工場鑛山等ニ於ケル勞務者ノ食糧問題ニ付テハ、全ク御説ノ通りデアリマシテ、此ノ方面ニモ多數ノ勞務者ガアルコトデアリマスノデ、一概ニ之ヲ一率ニ加減スルト云フコトモ參リ兼ねルデアリマセウガ、最モ國家ガ主力ヲ注イデ居ル石炭ノ増産、或ハ金屬鑛産等ノ増産ニ付テハ特ニ考慮ヲ拂ヒマシテ、是等ノ方面ニハ昨年ノ暮ヨリ農林省ニ於テ特ニ食糧ノ増配等ヲ致シテ居ル譯デアリマス、勿論戰前ト同ジヤウニ豊富ナ食糧ハ得ラレナイト思ヒマスガ、政府トシテハ足ラナイ所ノ食糧ニ付テ特ニソレダケノ考慮ヲ拂ツテ居ルト云フ點ヲ御諒承ヲ得タク存ジマス。

○松尾(孝)委員 今鑛業増産ノ食糧増配ヲ昨年カラ農林省ト協議シテヤツテ居ルト云フ御話デアリマスガ、九州方面ハ多少殖エタト聞イテ居ルガ、北海道ハ全然殖エテ居リマセヌ、是ハ確カデゴザイマスカラ、一ツ御調べヲ願ヒタイト思ヒマス、サウシテ是非増量シテ戴クヤウニ御配慮ヲ願ヒタイ

ト思ヒマス。次ニ國民健康保險法ノ問題ニ付テ二三御尋ネ致シマス、國民健康保險組合ニ對スル國庫補助金ノ問題デスガ、私他府縣ノ實情ハ能ク分リマセヌガ、北海道デハ寒イトカ、或ハ人口稀薄トカ、交通不便ト云フヤウナ色々ナ特殊事情デ、ドノ組合モ皆赤字ヲ出シテ居ルノデアリマス、此ノ補助金ノ増額ニ付テ十七年度豫算ヲ見ルト、三百六十萬圓程追加豫算ガ計上サレテ居ルヤウデスガ、是デ幾分カ斯ウ云ツタヤウナ特殊事情ノ所ニ對シテハ特ニ増額シテ戴ケルカドウカ、モウ一ツハ、國民健康保險組合ノ保險醫ノ問題デスガ、被保險者ガ診療スル機關ヲ自由ニ選擇スルコトヲ認メラレルカドウカ、其ノ次ハ組合事業運営資金トシテ政府ノ低利資金ヲ融通シテ貰ヘルカドウカ、是モ出來ルコトナラ是非ヤツテ戴キタイト云フ希望デスガ、御意見ヲ御伺ヒ致シマス。

○木村(清)委員 國庫補助金ノ問題ニ付キマシテハ、今度ノ豫算ハ從來ノ豫算ト同ジ割合デ取ツテ居ルノデアリマシテ、特ニ特殊事情ノアル所ニ餘分ニ配當スルヤウナ豫算ハ取ツテ居リマセヌ、但シ從來ト同様ニ特殊事情アル組合ニ付テハ、或ル程度考慮致シマスガ、北海道ノ國民健康保險組合ハ、御説ノヤウニ少シ赤字ノ多イ組合ガ多イノデアリマシテ、之ニ付テハ組合本來ノ建前カラシテ、自力更生ト云フコトガ第一デアルベキモノデアラウト思ツテ居リマス、濫診濫療ニ陥ルヤウナコトガナイカドウカ、或ハ又醫療費ノ高過ギルコトガアリハシナイカト云フヤウナ點モ特ト考究スル必要ガアルノデハナイカ、私共ノ方デモ其ノ點ニ付テハ現在一定ノ方針ヲ以テ指導シテ居ル

ノデアリマス、特殊事情ニ付テノ補助金ノ増配ニ付テハ、從來ト同ジ方針デ或ル程度ハ出來ルカト思ツテ居リマスガ、ソレハヤハリ自力更生ガ主デアルト云フコトダケヲ申上ゲテ置キマス、保險醫ノ選擇ニ付キマシテハ、從來モ一定區域ノ醫師會ト契約致シマシテ、其ノ醫者ノ間ニ於ケル選擇ノ自由ヲ認メテ居ルノデアリマス、大體普通診療ニハ差支ヘナイ程度ニ十分ノ醫者ガ得ラレテ居ルモノト思ツテ居リマスガ、尙ホ今度ノ改正法律案ニ依リマシテ、其ノ醫療組織ニ付テハ一段ト整備セラレルモノト思ヒマス、低利資金ノ御話デゴザイマスガ、是ハ特ニ組合トシテ醫療施設等ヲ持つ場合ナラバ格別デアリマスガ、或ハ赤字補填ノヤウナ意味デアリマスナラバ、是ハ餘程考慮ヲ要スル點デアラウト思ヒマシテ、寧ロサウ云フコトハ先ヅ原則トシテ認メナイデ、一日モ早ク此ノ赤字ヲ補填スルヤウナ方途ヲ講ズルヤウニ指導スル方ガ第一デハナカラウカト考ヘテ居リマス。

○松尾(孝)委員 私人質問ハモウ大體是デ終了シタノデスガ、幸ヒ今厚生大臣ガ才見エニナツタノデ、唯一點ダケ御許シ願ヒタイト思ヒマス、ソレハ先刻羽田委員カラ御質問ニナツタ結婚ノ獎勵、ソレカラ子實ノ増産ノ問題デス、昨日モ次官カラ御答辯ヲ得マシタガ、此ノ場合大臣ニ一寸承リタイト思ヒマス、結婚ノ獎勵ニ付テ政府ガ色々御考ヘニナツテ居ルコトモ分ツテ居リマスガ、モットハハ積極的ニ、何カ國民職業指導所ノヤウナ機關ヲ設ケルナリ、市町村長ト云フヤウナ機關ヲ動員スルナリシテ、積極的ニ適齡者ヲ配合サセルヤウナ工夫ヲ御考ヘニナツタラ如何カ、ソレカラ子供ヲ

唯無暗ニ殖ヤセト掛聲バカリデハ駄目デスカラ、僅カニ税金ヲ安クストカ、或ハ家族手當ヲ支給ストカ、表彰スト云フ程度デナクシテ、モウ其ノ人ノ家庭ノ狀況ニ依ツテ何人以上ハ國家ガ責任ヲ負フカラ幾ラデモ産ンデ呉レト云ツヤウナ方法ヲ國策トシテオヤリニナラナクテハナラナイト思ヒマス、詳シイコトハ申上ゲマセヌガ、ソレダケ申上ゲタラオ分リニナルト思ヒマスカラ、ドウゾ斯ウ云フ點ニ付テ國家トシテノ御意見ヲ承リタイ

○小泉國務大臣、適正ナルモツト積極的ナ結婚獎勵ヲヤルカ、又幼兒等ニ對シマシテ今考ヘテ居ル以上ニ國家的ノ、モツト強力ナ積極的ナ施設ヲヤルカト云フ御尋ネト拜聽致シタノデアリマス、結婚ノ獎勵ニ致シマシテモ、第二ノ乳幼兒、更ニ其ノ子供ヲ良ク育テルト云フ上ニ於テ、家庭のニ安心シテ生活ヲヤツテ行ケル、サウシテ今日ノ事態ニ即シ、又將來ヲ考ヘマシテノ人口政策ニ國家ニ協力スト云フ風ニセシムルト云フコトニ付キマシテハ、全然私共モ其ノ感ヲ等シク致シテ居ル次第デアリマス、唯如何ニシテ之ヲヤツテ行クカト云フ其ノ施設又方法等ニ關シマシテハ、十分各國民ノ生活其ノ他四圍ノ情勢等ヲ能ク勘案致シマシテ、逐次速カニ施設シテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、今日ノ所ニ於テハ研究シ得マシタモノヲ今同提出法案ニ織込ンデ、之ニ伴フ色々施設ヲヤツテ行キタイ、將來ハ一層強化シテ行クト云フコトニ對シマシテハ全然御趣意ノヤウナ積リデ居リマス

○紫安委員長 土屋君

○土屋(清)委員 大分時間モ過ギマシタシ、

又質問ヲサレル同僚モ大分ゴザイマスノデ、私ハ只今マデ他ノ諸君カラ御質問ガアリマシテ明カニナリマシタ點ハ除キマシテ、最初ニ極ク大難把ニ厚生大臣ニ御尋ネヲ致シマシテ、アト細カイ點ハ適宜政府委員カラ御答辯ヲ願ヒタイト存ジマス

申上ゲルマデモナク、今度此ノ東亞共榮圈確立ノ大戰争ガ起リマシテ、皇軍ハ赫々タル戰果ヲ擧ゲツツアリマスガ、其ノ一面ニハ其ノ戰果ヲ將來ニ向ツテ十分ニ確保擴張スル爲ニ、所謂人的資源ノ必要ナルコトハ申スマデモアリマセヌ、私ガ此ノ議會生活ヲ致シマシテカラ今日マデ二十年餘、其ノ間殆ド毎何レカノ機會ニ於テ衛生保健ノ問題ヲ言ツテ居ルノデアリマスアレドモ、微力ニシテ吾々ノ聲ハ徹底シナイ、國民ハ折角天カラ子ヲ授ケラレナガラ、途中デ流産スル者ガ世界ノ他ノ國ニ比ベマスルト二倍三倍、折角生レテモ幼死スル者ガ是亦二倍三倍、折角爲ニ倒レル者ガ三倍モ多イト云フ此ノ實情ヲ知リナガラ、今日マデ徹底的ニ之ヲ救済スル方策ヲ政府ニ於テ立テラレナカツタト云フコトハ、實ニ私共トシテ遺憾デアルバカリデナク、國家トシテハ是レ以上大キナ損失ハナイト思フ、幸ヒニシテ現内閣ガ出來マシテカラ、是等ニ對スル劃期的ノ大改革案ヲ出サレ、即チ健康保險ノ制度ヲ大々的ニ擴張シテ、從來僅カ一千万内外ノ人シカ救済シ得ナカツタノヲ、都鄙ヲ通ジテ實ニ四千万ノ庶民大衆ニ醫療ノ機會ヲ均等ニ分ケラレル温カイ手ヲ延ベニ面醫療制度ヲ改革致シマシテ、多數ノ結核患者ニ療養ノ機會ヲ與ヘテ、遠カラズ之ヲ撲滅ショウト云フ思ヒ切ツタ施設、是ガ爲ニ醫師、齒科醫師其ノ他醫療關係ノ身分者十數万ニ向ツ

テ、國家目的ニ協力スベキ使命ヲ明ラカニスルト同時ニ是等ヲ總動員シテ、此ノ醫療保健ノ目的ヲ達成サセヨウトシタコトハ、實ニ我ガ明治以來厚生史上ノ一大壯觀デアルト考ヘマシテ、私ハ今回程、此ノ議會生活ニ於テ愉快ヲ感ジタコトハアリマセヌ、隨テ是等ノ案ニ對シマシテハ其ノ根本精神ニ於テ私ハ全然同感デアリマシテ、一日モ速カニ是ガ本院ヲ通過シテ實現サレルコトヲ希望スルノデアリマスガ、其ノ反面ニ於テマダ病氣ニ罹ラナイ國民ヲ見マスルト、現在日本國民ノ體力ト云フモノハ到底白人ニ及バナイ、彼ノ十二對シテハシカナイト云フコトハ、殆ド識者ノ通説ニナツテ居リマス、隨テ此ノ十幾万ノ醫療關係者ヲ總動員シテ國民ノ體力向上ノ指導ニ當ラセルト云フコトニ付テハ、何ヲ目標ニシテ指導サセルカ、是ガ一番大事ナ點デハナイカト考ヘマス、蓋シ現内閣ガ醫學出身者デアツテ、多年軍陣衛生ヲ主宰シテ國民體力ノ向上ノ爲ニ力ヲ注イデ來タ所ノ小泉中將ヲ厚生大臣ニ擧ゲテ、縱橫ニ其ノ手腕ヲ揮ハセルヤウニシタト云フコトハ、蓋シ此ノ點ニアツタノデハナイカト考ヘル、ソコデ私ハ厚生大臣ニ向ツテ此ノ點ニ付テノアナタノ抱負經綸ヲ本委員會ヲ通ジテ廣ク國民ノ前ニ傳ヘテ戴キタイ、是ガ私ノ質問致シマスル趣意デゴザイマス、從來吾々議員生活ヲ致シマシテ、委員會ニ或ハ本會議ニ主管大臣ノ答辯ト云フモノヲ聽キマスガ、多クハ屬僚ノ書イタ答辯ヲ讀ムニ過ギナイ、人ハ萬能デハアリマセヌカラソレモ無理ハアリマセヌガ、併シ今私ノ申シマシタ點ハ屬僚ノ意見ヲ俟タズシテ、事務的ノ意見ヲ問フコトナクシテ、大臣ガ肺腑ヨリ自由ニ述ベラレルコトデア

リマスカラドウカ率直ニ大膽ニ、此ノ點ニ付テ御意見ヲ拜聽致シタイノデアリマス、私ガナゼ斯様ナ質問ヲ致シマスカト申シマスルト、私ハ非常ニ子供ノ時ニ身體ガ弱カッタ、ソレデ兵隊検査ノ時ニハ兵役ヲ免除サレタノデアル、隨テ今日マデ戰爭ノ起ル度ニ自分ガ兵役ニナイト云フコトニ付テ肩身ノ狭イ思ヒヲ感ジテ居ルノデアリマスガ、同時ニ私自ラ自分ノ身體ヲ丈夫ニ鍊成シナケレバナラナイト云フコトヲ考ヘマシテ、其ノ點ニ付テ多少ノ注意ヲ拂ツテ居ルノデアリマス、例ヘバ昔カラ飽食暖衣ハ病ノ本デアルト申シテ居リマスガ、是ハ實ニ今日ニ於テモ金言デアル、人ハ學生デ下宿屋生活時代ニハ、下宿屋ノ粗末モノヲ食ヒナガラ、愈一人前ニナツテ、紳士ニナツテ活動スルヤウニナルト、熱量ガ餘リ要ラナイヤウナ時代、四十位ニナツテ却テ過剰ナ榮養ヲ攝リ過ギルガ爲ニ、血壓昂進其ノ他ヲ起シテ其ノ天壽ヲ早メルヤウニナル、或ハ寒イノト云ツテ非常ニ厚着スル爲ニ、却テ皮膚及ビ呼吸器ノ抵抗力ヲ弱クシテ、サウシテ結核其ノ他ニ罹リ易イヤウニナル、一面社會生活ガ文明ノ發達ト共ニ段々複雑ニナツテ來テ居ル關係カラ、人ハ都會ヘ都會ヘト集中シテ、サウシテ自然ノ環境カラ遠ザカリマス爲ニ、都市生活者ト云フモノハモウ其ノ子供ノ發育狀態カラ見テモ分ル通り、青年ニ達シタ者ハ徒ラニ身長ガ長イダケデアツテ、胸圍ハ狭ク、體重ハ輕ク、筋肉ハ薄弱デアル、斯ウ云フ者ヲ以テシテ、此ノ現狀ヲ以テシテ此ノ大東亞共榮圈ノ確立ノ人的資源ニ充當シテ行クト云フコトハ、是ハ堪ヘラレヌコトデアル、私ハ議會ニ參ツテ始終思ヒマスガ、私自身ハド

シナ寒中デモ、夏ノ儘ノ木綿ノ「シヤツ」ノ外ニハ上ニ唯上着ヲ着ルダケデアツテ、決シテ他ノ「シヤツ」ト云フモノヲ着タコトガナイ、其ノ爲ニ私ハ非常ニ健康デアアル、ソレカラ近年偶然ニ發見シタノデアリマスケレドモ、先年足ヲ怪我シテ入院シテ居ル間ニ、私ノ血壓ガ百八十八カラ或ル時ハ二百アルト云フコトニ氣付イタ、是ハ飽食ノ結果デアアル、又其ノ當時或ル雜誌ヲ讀ミマシタ所ガ、「ドイツ」ノ或ル學者ノ報告トシテ、高血壓ヲ治ス藥ハナイ、結局是ハ飽食ヲ矯メル、減食ヨリ外ニナイ、特別ナ病氣ノナイ限りハ、即チ腎臟炎其ノ他ノ特別ナ原因ノナイ限りハ食物ヲ節約スレバ、或ハ斷食スレバ八日乃至二週間デ大概ノ高血壓ハ治ルト云フコトヲ讀ンダ、私ハ斷食ハ致シマセスケレドモ、野菜食ニシテ減食致シマシタ所ガ血壓ハ百五十カラ百四十二下ツタ、即チ人ハ暖衣シテ身體ヲ弱クシ、飽食シテ身體ヲ弱クシ、其ノ壽命ヲ縮メル、サウシテ都會ヘ都會ヘト集中シテ其ノ子孫ノ種ヲ斷ヤシテ居ルト云フヤウナ現狀デアアル、是等ハ指導ニ依ツテ矯メラレルノデアツテ、決シテ政府ノ豫算ハ要ラナイ、藥モ要ラナイ、何モ要ラナイコトデアアル、指導ニ依ツテコソ本當ニ國民ヲ強健ニシテ病氣ニ罹ルノヲ豫防シ、又之ヲ少クスルコトガ出來ルノデアツテ、一體豫算ガナケレバ何モ出來ナイト云フコトハ、是ハ古イ官僚ノ考ヘデアツテ、今日ノ政治ヲヤル者ハ指導ニ依ツテ國民ヲ本當ニ造リ上ゲテ行カナケレバナラス、農林省ノ委員會ヲ見マシテモ、モウ食糧々々デ非常ニヤカマシイ、ドノ人ノ顔ヲ見テモ米ガ足りナイト云フコトヲ言ツテ居リマスガ、米萬能ガ即チ今日ノ日本ノ食糧問題ノ禍ヒ

ヲ貽シタノデアツテ、決シテ日本ノ國民ハ昔カラ米バカリ食ベテ居タノデハナイ、色色テ五穀時ト所トニ依ツテ作ラレタ五穀ヲ適當ニ食ベテ、サウシテ「ヴィタミン」缺乏性モ起サズ、健全ナル、立派ナル日本國民ヲ造リ上ゲテ居ル、一番都會地ニ於テ忘レラレテ居ル稗、岩手縣ノ如キハ米七稗三ヲ混ぜテ居ルノガ當然デアリ普通デアアル、稗ヲ多ク食ベテ居ル所ノ岩手縣ノ者ハ、壯丁検査ニ於テモ非常ニ強健デアアル、サウシテ人材ニ於テモ嘗テハ我が政黨界ノ偉人ト言ハレタ原敬ヲ出シ、軍ノ方ニ於テハ現在ノ總理大臣モ岩手縣ノ人ヲ父トシテ生レテ居ル、前ノ内閣總理大臣モ亦ヤハリサウデアアル、陸海軍カラモ政治家カラモ非常ニ英材ガ此ノ稗ヲ食ツタ中カラ出テ居ルノデアリマス、即チ是モ食糧ト云フモノハ決シテ米ニバカリ依存ヲシテハナラナイ、「ドイツ」人ハ馬鈴薯ヲ食ツテ此ノ前カラノ戰爭ヲ續ケテ居ル、日本人ハ米モ食ベ、麥モ食ベ、蕎麥モ食ベ、稗モ食ベ、適地適作ノ五穀ヲ隨時適當ニ攝ツテ本當ニ今日ノ日本國民ヲ造リ上ゲタノデアアル、ソレヲ米ダケニ偏シタ結果、偏食ガ今日ノ日本國民ノ身體ヲ弱クシ、同時ニ國家財政上ニモ食糧問題デ非常ニ頭痛メナケレバナラナイヤウナコトニナツタ、厚生省ニ於ケル食糧政策ト云フモノハ、榮養問題ヲ根本ニシテ是カラ割出サナケレバナラスモノデアアル、隨テ之ニ依ツテ日本ノ食糧政策ヲ立テナケレバナラス、農林省ハ此ノ厚生省ノ計畫ヲシタ所ノ方針ニ依ツテ食糧ヲ生産スルヤウニスレバ、初メテ本當ニ科學的ナ國家經營ニナルノデアリマス、私ハ何レカノ機會ニ於テ政府ニ斯ウ云フコトヲ考ヘテ貰ヒタイ、斯ウ考ヘテ居ツタノデ

アリマスケレドモ、其ノ機會ガナイ、幸ヒニ先ニ申シマシタ小泉中將ガ厚生大臣ニナラレテ、人的資源涵養ノ參謀總長トシテ居ラレマスルガ故ニ、ドウカアナタノ口カラ、アナタノ此ノ問題ニ對スル、即チ國民體力ノ向上ニ關スル抱負經綸ヲ率直ニ、十分ニ聽カセテ戴クコトガ出來レバ、私ハ本案ノ審議ドコロデヤナイ、今日ノ時局ヲ救フ上ニ於テ、強兵健民ノ國策ヲ確立スル上ニ於テ、蓋シ國民ハ大イニ傾聽スルダラウト、斯様ニ考ヘマシテ、先ヅ此ノ點ニ付テ御意見ヲ承ル次第デアリマス

○小泉國務大臣 只今土屋委員ヨリ、大東亞共榮圈確保ノ爲ニ人的資源ヲ確保スルコトガ必要デアアル、而シテ是ガ爲ニハ、色々ノ方面ヲ御指摘ニナリマシタガ、要スルニ國民ニ指導スルコト云フ點ガ最モ緊要デアルト云フ御説ヲ拜聽致シマシタ、洵ニ御同感、多々御共鳴ヲ申上ゲル次第デゴザイマス、私ト致シマシテモ、御説ノヤウナ點ニ付キマシテハ、既ニ相當長ク研究モ致シタノデアアリマスルガ、今回當議會ニ提出致シマシタ國民體力法中改正法律案、醫療法ト云フヤウナモノモ亦此ノ觀點ニ出發シテ居ルヤウナ次第デアリマス、即チ先般提案理由ニ於テ申上ゲマシタヤウニ、此ノ際速カニ廣イ意味ノ國民ノ體力向上ト云フコトヲ重要ナル基本國策トシテ遂行シナケレバナラナイ、斯ウ考ヘマシテ、政府ニ於キマシテハ今同是等ノ法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、ソコデ此ノ體力法ニ於キマシテハ從來ト違ヒマシテ、先程御指摘ニナリマシタヤウナ十餘万ノ醫師、齒科醫師諸君、其ノ他醫療關係ノ方ノ協力ヲ得マシテ、從來ノ體力検査制度ノ如キ、或ル所定ノ期間ノ

者ダケデナク、必要ナ者ニ對シマシテハ隨時之ヲ検査シ、又體力手帳ニ載セル、生レル前カラ、母親ノ胎内ニアル時カラ之ニ手ヲ伸バシマシテ、生レマシテカラ少年ニ達スルマデノ間ニ、ソレヲ體力手帳ニ書イテ、ソレニ依ツテ、只今御指摘ノアリマシタヤウナ色々ノ方面ニ、生活環境ノ凡ニル方面ニ對シマシテ指導ノ手ヲ積極的ニ具體的ニ伸バシタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、衣、住、營養、仕事、運動、其ノ他生活環境全般ニ互リマシテ、具體的ナ指導ヲ當人ニ與ヘテ、先程御指摘ノアリマシタヤウナ暖衣飽食ト云フヤウナコトノ弊ヲ是正改善致シマスルト同時ニ、更ニ御述ベガアリマシタ修鍊ヲスル、或ハ身心ノ鍛鍊ヲヤル、サウシテソレヲ自己ノ生活其ノモノトセシムル、ト云フヤウナ風ニ參リマス、ソレニ依リマシテ弱イ、病氣ノ人ハ、國家ノ人口政策ト共ニ、又國家ノ重要ナル基本國策デアアル體力向上ト云フ國策ト一本ニ、一緒ニ行ク所ノ醫師、其ノ他ノ醫療關係者ト一緒ニナツテ、其ノ人達ヲ合理的ニ世話ヲシテ、少シデモ好クナレバ、之ヲ今申シマシタヤウナ指導網ノ中ニ總テ抱ヘ込ミマシテ、其ノ包容シマシタ指導網ノ中デ、全部之ニ生活環境ニ對スル具體的、積極的、試煉ヲ與ヘル、而モ指導ヲ受ケマシテモ、ソレヲ具現スルコトノ出來ナイヤウナ場面ノ人ニハ、ソレノ出來ルヤウニ處置ヲスル、又公共團體、市町村等ニ於キマシテモ、ドウモ其處ノ全般ニ對シテ改善ノ要アリト認メマシタ場合ニハ、指導ノ手ヲ其處ニ伸ベマシテ適當ナ措置ヲ講ズルト云フヤウナ風ニ參リマス、サウシテ更ニ好クナリマシタ者ヲモウ一度修鍊ヲスル、心身鍛鍊ヲスル、

サウ云フヤウナコトノ爲ニ、近ク設立サレ
マス綜合體育團體、或ハ綜合武道團體ト云
フヤウナモノモ、國策ノ中ニ一本ニ融ケ込
ンデ貰ヒマス、斯クノ如クシテ、要ハ最後
ニ御述ベニナリマシタヤウニ、日本ノ本當
ノ姿、國民ヲハツキリシタ生活ト云フモノ
ニ持ツテ行ク、サウシテ一番ノ眼目デア
ル體力向上ト云フ所ニ伴レテ行ク、斯ウ云フ
風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、隨ヒマシ
テ、最後ニ御指摘ニナリマシタ食糧問題等
ニ對シマシテモ、厚生省ガ是等ノ觀點カラ
十分ナル勘案ヲ致シマシテ、其ノ根本ノ方
針ニ從ツテ生産、配給ヲ致スト云フコトハ
農林省デヤルト云フヤウナ風ニ、兩者間ニ
全ク協議ガ調ツテ居リマシテ、此ノ點ニ於
キマシテハ、從來以上ニ積極的ニ研究調査
ヲ進メマシテ、只今御述ベニナリマシタ御
趣意ノヤウニ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ル次
第デアリマス

○土屋(清)委員 只今ノ御答辯ニ依リマシ
テ、私ハ一層力強ク感ジマス、ドウカ其ノ
御方針ニ依リマシテ、グン／＼厚生行政ノ
進展ヲシテ戴キタイト存ジマス、蓋シ此ノ
非常ナ時局ニ當ツテ、志ヲ同ジクスル所ノ
全國醫療關係者、其ノ他保健關係者ト云フ
モノハ、恐ラク此ノ大臣ノ御希望ニ共鳴シテ、
強兵健民ノ爲ニ邁進スルデアラウト存ジマ
ス是カラ少シ御尋ネヲ致シマス……

○紫安委員長 土屋君ニ申上ゲマスガ、今
カラ本會議ガ始マリマスカラ、ドウゾアナ
タノ御質問ハ次會ニ一ツ御願ヒ致シマス、
本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時散會

昭和十七年一月二十八日印刷

昭和十七年一月二十九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局